

令和4年度
(2022年度)

事業年報



日本赤十字社 青森県支部
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人 道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中 立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独 立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

はじめに

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、約3年間にわたり大きな影響を受けてきた新型コロナウイルス感染症によるパンデミック、昨年2月に勃発し長期化の様相を呈しているウクライナ紛争や世界的な気候変動による人道危機など、私たちを取り巻く社会情勢は目まぐるしく変化しています。

このような状況にあって、私ども日赤青森県支部及び管内施設では、人々の命や生活を守るために、職員が力を尽くし、その対応に取り組んできました。

さらに、昨年8月には、津軽地方を中心に記録的な大雨が降り、土砂崩れや河川の氾濫、堤防の決壊などにより、多数の家屋や農地が浸水するなど、県内各地で甚大な被害に見舞われ、当支部においては、被災市町村の要請に基づき避難所などへ救援物資を搬送したほか、義援金の受付を行うなど、被災者支援のための救護活動を展開してきました。

また、昨今、地震や大雨、台風等による自然災害が頻発化しており、いつ起きるかもしれない災害に備え、発災直後の応急対応が的確に行えるよう災害救護体制の強化を進めるとともに、平時からの「備え」として防災教育の充実を図り、地域社会への防災・減災の知識・技術の普及に今後も取り組んで参ります。

日本赤十字社としては、社会情勢が目まぐるしく変化するこの時代であって、これまでの経験から学んだことを糧としながら、その時代ごとの社会課題やニーズに柔軟かつ巧みに対応していかなければなりません。

当支部としても、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命の下、「救うを託されている」組織の一員として、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を活かした活動を積極的に展開し、日本赤十字社に求められる期待に応え、今後も多くの県民の皆様から赤十字活動へのご賛同とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係者の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年5月

日本赤十字社青森県支部

支部長 三村 申吾

目 次

巻頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	12
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	13
4. 赤十字奉仕団	15
5. 青少年赤十字	21
6. 国際活動	30
7. 社会福祉事業	31
8. 医療事業	33
9. 血液事業	35

II 活動資金募集と赤十字思想の普及

10. 活動資金の募集状況及び会員の現況	40
11. 赤十字思想の普及と広報活動	45
12. 青森県赤十字有功会	51

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	53
14. 令和4年度一般会計・特別会計決算報告	54
15. 支部役員・評議員	57

日本赤十字社長期ビジョン	58
--------------	----

日本赤十字社の組織と機構	59
--------------	----

日本赤十字社青森県支部現勢	60
---------------	----



1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。

当支部では、常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか、救護資材を整備し、救護体制を万全にするように努めている。

(1) 救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生した火災（火災災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。

また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品名	数量
毛布	353
緊急セット	174

(救援物資の市町村別交付状況は、8、9ページ参照)

(令和4年8月3日からの大雨災害にかかる交付状況は上記に含まない。6ページ参照)

(2) 国内災害義援金受付状況

区分	件数	金額
平成30年7月豪雨災害義援金	7件	245,092円
令和2年7月豪雨災害義援金	10件	142,618円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	23件	291,796円
令和4年7月大雨災害義援金	11件	88,065円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金(青森県指定)	86件	105,288,953円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金(地域指定なし)	21件	360,599円
令和4年台風15号災害義援金	8件	54,904円
合計	166件	106,472,027円

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあたる。

当支部では八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センターの混成で1個班、計8個班を編成している。

令和4年度は、日赤本社の救護班編成基準（※）に基づいて、第1～7班は薬剤師、第8班は主事を加え、各班7人編成とした。

職 種 区 分	医 師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看 護 師 (人)	主 事 (人)	薬剤師 or 助産師 (人)	計 (人)
1個班の編成基準(※)	1	1	2	2	(1)	6(7)
常 備 要 員	8	8	16	17	7	56

② 各種訓練への参加状況

医療救護班等の訓練のため、次のとおり各種訓練に参加した。

- ・青森県原子力防災訓練（野辺地町）
- ・青森県災害対策本部図上訓練（県庁）
- ・青森市総合防災訓練
- ・八戸市総合防災訓練
- ・SCU設置運営訓練（青森市）
- ・青森県総合防災訓練（十和田市）……令和5年度に延期
- ・日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練（担当：宮城県支部）……令和5年度に延期

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、救護をめぐる概念や、方法論はめまぐるしく変化しており、特に災害発生直後に救出活動と連携して行われる医療活動であるDMAT活動については、日本赤十字社においても、DMATチームを養成し、これに取り組んでいるところである。

当支部においても、八戸赤十字病院が青森県よりDMAT指定医療機関としての指定を受け、DMATチーム3チームを保有している。

また、当支部では、現場でDMATチームと協働することを想定して、救護班養成のための研修・訓練カリキュラム（SPDT：Small Packaged Disaster Training）に基づく研修及び指導者養成研修を実施している。

(4) 災害救護装備について

県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、移動炊飯器の配置

当支部では、災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

令和4年度为天幕、担架、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主たる使用状況
天 幕	5	防災訓練、避難訓練 ほか
担 架	3	避難訓練
移動炊飯器	9	奉仕団研修会、防災訓練 ほか

(天幕等の使用状況は、8、9ページ参照)

・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では、赤十字の理念とする「人道・博愛」の心について、赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

令和4年度の配置概要は以下のとおりである。

車両配置先	配置月日	配置車両
三戸町	9月29日	日産 セレナX 4WD
十和田市	10月17日	
板柳町	10月18日	
むつ市	10月25日	

(「博愛号」の使用状況は10、11ページ参照)



写真はむつ市役所での配置の様子
レプリカキーを持つ宮下地区長



写真は三戸町役場での配置の様子
レプリカキーを持つ松尾分区長

(5) 防災・減災等に関する連携協定の締結

・特定非営利法人青森県防災士会（令和5年3月27日）

緊密な相互連携と協働による活動を推進し、平時からの防災減災に関する知識の普及や災害時に迅速に対応できる体制を確保することで、人々のいのちと健康、尊厳を守ることを目的として、連携協定を締結した。

【連携事項】

- ・防災・減災に関する知識等の普及に関すること
- ・災害ボランティア活動に関すること
- ・その他、地域の安全・安心に関すること



連携協定締結式の様子

(6) 令和4年8月豪雨災害（令和4年8月大雨災害）に対する青森県支部の対応

① 大雨の概要（内閣府情報：令和4年11月1日13:00現在）

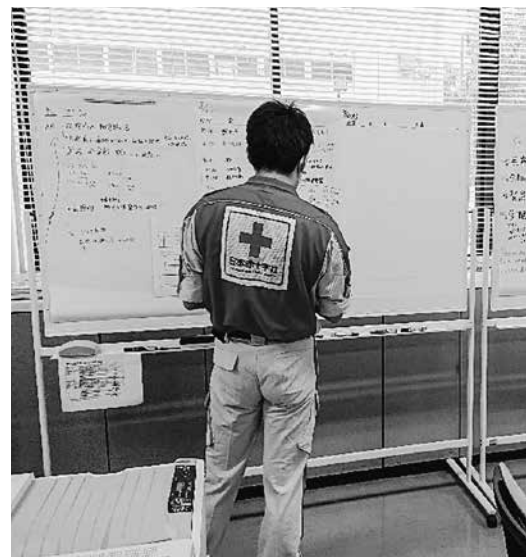
8月3日に低気圧が東北地方を通過し、低気圧に伴う前線が8月4日にかけて北陸地方へ南下して停滞、8月5日には本州南岸まで南下した。低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、北日本から西日本では8月5日にかけて、東北地方と北陸地方を中心に断続的に猛烈な雨が降り、記録的な大雨となった。

また、8月8日には再び前線が北日本に伸びて停滞し、8月13日にかけて北海道地方や東北北部で大雨となり、北海道や青森県では記録的な大雨となった。

② 被害の状況（青森県内）

（青森県災害対策本部資料参照 令和4年9月22日現在）

死 者		0名
行方不明者		0名
負 傷 者		0名
住 家 被 害	全 壊	9棟
	半 壊	423棟
	準 半 壊	13棟
	一 部 損 壊	286棟
	床 上 浸 水	2棟
	床 下 浸 水	61棟
非住家被害	全 壊	6棟
	半 壊	8棟



支部にてクロノロ作成している様子

③ 日本赤十字社青森県支部の活動

ア 青森県支部救護体制

第一次救護体制を発令	令和4年8月3日（水） 7:30
第一次救護体制を解除	令和4年8月5日（金） 16:00
第一次救護体制を発令	令和4年8月9日（火） 8:00
第二次救護体制に移行	令和4年8月9日（火） 20:15
第一次救護体制に移行	令和4年8月19日（金） 10:38
第一次救護体制を解除	令和4年9月13日（火） 10:00

主な活動：県災害対策本部へのリエゾン派遣

災害救援物資の搬送

義援金募集

イ 活動詳細

- ・県災害対策本部へのリエゾン派遣

県庁の災害対策本部へ8月3日から8月31日にかけて情報収集。

・災害救援物資の搬送等

8月4日：外ヶ浜町分区から救援物資の要請を受け、毛布30枚、緊急セット18個、タオルケット30枚、バスタオル19枚を三厩体育館、平館中学校へ搬送。

田舎館村分区から救援物資の要請を受け、毛布2枚、緊急セット1個、タオルケット2枚、バスタオル2枚を当支部から佐川急便へ依頼し、田舎館村役場へ搬送。

8月5日：十和田市地区から救援物資の要請を受け、タオルケット2枚、バスタオル2枚を当支部から佐川急便へ依頼し、十和田市役所へ搬送。

8月8日：外ヶ浜町分区から救援物資の要請を受け、毛布20枚、緊急セット29個、タオルケット20枚、バスタオル3枚を外ヶ浜町総合福祉センターへ搬送。

8月9日：今後の雨に備え、深浦町分区へ救援物資を配置することとした。毛布20枚、緊急セット12個、安眠セット20個、タオルケット20枚を当支部から佐川急便へ依頼し、深浦町役場へ搬送。

弘前市地区から救援物資の要請を受け、毛布20枚、緊急セット12個を弘前市社会福祉協議会へ搬送。

8月11日：鱒ヶ沢町分区から救援物資の要請を受け、毛布200枚、緊急セット132個、タオルケット200枚、安眠セット30個を鱒ヶ沢町役場へ搬送。

板柳町分区から救援物資の要請を受け、毛布20枚、緊急セット6個を板柳町社会福祉協議会へ搬送。

五所川原市地区から救援物資の要請を受け、毛布260枚、緊急セット60個、タオルケット170枚、安眠セット10個を五所川原市役所へ搬送。

8月12日：金木分区から救援物資の要請を受け、毛布20枚、緊急セット6個を金木総合支所へ搬送。

中泊町分区から救援物資の要請を受け、毛布120枚、緊急セット72個、タオルケット120枚を中泊町役場へ搬送。

弘前市地区から救援物資の要請を受け、毛布100枚、緊急セット24個を弘前市社会福祉協議会へ搬送。

8月15日：鶴田町分区から救援物資の要請を受け、五所川原市地区に搬送した物資から、毛布50枚、緊急セット10個、タオルケット50枚を鶴田町役場へ搬送。



板柳町にて救援物資を荷下ろししている様子



外ヶ浜町にて救援物資を引き渡している様子

避難所への救援物資搬送状況

市町村名 救援物資	弘前市	※金木・市浦含む 五所川原市	十和田市	外ヶ浜町	鯉ヶ沢町	深浦町	板柳町	田舎館村	中泊町
	毛布 (枚)	120	280	2	60	200	20	20	2
緊急セット (個)	36	72	1	51	132	12	6	1	72
安眠セット (個)	0	20	0	51	30	10	0	0	20
タオルケット (枚)	0	170	2	52	200	20	0	2	120
バスタオル (枚)	0	0	2	52	0	0	0	2	0



緊急セット



安眠セット

ウ 義援金の受付

義援金名称：令和4年8月3日からの大雨災害義援金

受付期間：令和4年8月31日（水）～令和4年12月28日（水）

受付額：105,288,953円

内訳：日赤青森県支部受付分 3,345,634円

本社及びその他の支部受付分 101,943,319円

※専用口座へ寄せられた義援金は、「令和4年8月大雨災害青森県義援金配分委員会」を通じて被災者へ配分されました。

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項 目		支 部	八戸赤十字病院	計
車両		4	1	5
医療セット		0	2	2
携帯医療セット		1	0	1
テント	エアテント	1	1	2
	ドラッシュテント	3	1	4
	その他	10	1	11
担架		30	8	38
折畳寝台		30	5	35
発電機		8	2	10
エネルギー (1500W)		2	0	2
太陽光発電パネル		1	0	1
蓄電池 (小) (500W)		1	0	1
蓄電池 (タメルラボ2000N)		3	0	3
蓄電池 (タメルラボ6000N)		2	0	2
専用ソーラーパネルTLSL-150		3	0	3
専用ソーラーパネルTLSL-250		2	0	2
投光器		2	0	2
浄水機		1	0	1
衛星電話		2	4	6
災害時優先電話	固定電話	2	2	4
	携帯電話	3	20	23

令和4年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区分 市町村名	災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考	
	り災 世帯数	被災 者数	火災	災	風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器		
			全焼	半焼										
市	青森市													
	青森市	13	24	11	2	0	21	11	15,000	—	—	—	0	炊飯器 1器
	青森市浪岡	1	2	1	0	0	2	1	0	0	0	—	0	炊飯器 1器
	弘前市	45	137	8	2	31	17	22	20,000	0	0	0	2	炊飯器 4器
	八戸市	23	43	13	9	0	24	13	30,000	—	—	—	1	炊飯器 2器
	黒石市	4	4	0	4	0	3	3	5,000	0	—	—	0	炊飯器 1器
	五所川原市													
	五所川原市	5	10	3	1	0	162	73	0	0	—	—	0	炊飯器 1器
	五所川原市金木	0	0	0	0	0	20	0	0	0	—	—	1	
	五所川原市市浦	1	2	1	0	0	1	1	5,000	0	0	0	0	
	十和田市	7	19	4	0	2	12	5	10,000	0	—	—	—	
	三沢市	2	2	2	0	0	2	2	0	0	—	—	0	
	むつ市													
	むつ市	6	8	2	3	0	7	5	5,000	0	—	—	0	炊飯器 2器
	むつ市川内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
	むつ市大畑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
むつ市脇野沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0		
つがる市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 5器	
平川市	2	5	0	0	2	0	2	0	0	—	—	0	炊飯器 3器	
市計	109	256	45	21	35	271	138	90,000	0	0	0	4		
東地区	平内町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0		
	外ヶ浜町	1	2	1	0	0	0	0	10,000	0	—	—	—	炊飯器 3器
	今別町	2	3	2	0	0	3	2	0	—	—	—	0	
	蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
西地区	鱒ヶ沢町	0	0	0	274	0	28	10	5,000	—	—	—	—	
	深浦町	1	2	1	0	0	2	1	0	0	—	—	0	炊飯器 2器
中地区	西目屋村	1	2	1	0	0	2	1	0	0	—	—	0	
	板柳町	1	1	0	0	1	1	1	0	2	0	0	1	
南地区	藤崎町	1	4	1	0	0	6	2	0	—	—	—	0	炊飯器 2器
	大鰐町	2	6	2	0	0	6	2	0	0	—	—	0	
	田舎館村	2	4	1	0	1	3	2	5,000	0	—	—	0	
北地区	中泊町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1	
	鶴田町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
上北地区	野辺地町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
	七戸町	2	6	2	0	0	5	2	5,000	0	—	—	0	炊飯器 2器
	六戸町	1	1	1	0	0	1	1	0	0	—	—	0	炊飯器 2器
	横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
	東北町	2	7	2	0	0	6	2	0	—	—	—	0	炊飯器 2器
	六ヶ所村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	

区分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
全焼	半焼													
下北地区	大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	
	東通村	1	2	1	0	0	2	1	0	1	1	0	1	炊飯器 2器
	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	
	佐井村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 2器
三戸地区	三戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—	0	
	五戸町	2	2	2	0	0	2	2	5,000	0	0	0	0	炊飯器 2器
	田子町	1	2	1	0	0	2	1	0	0	—	—	0	
	南部町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	2	炊飯器 3器
	階上町	1	5	1	0	0	5	2	0	0	—	—	0	
	新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2	—	0	
	おいらせ町	4	9	2	1	1	8	4	0	—	—	—	0	炊飯器 2器
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
町村計		25	58	21	275	3	82	36	30,000	5	3	0	5	
合計		134	314	66	296	38	353	174	120,000	5	3	0	9	

※令和4年8月大雨災害にかかる救援物資の交付状況は含まない。6ページ参照

令和4年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
市	青 森 市				
	青 森 市	H29	3,773	28,315	
	青森市浪岡	—	—	—	H29廃止
	弘 前 市	H11	1,166	27,043	
	八 戸 市	H12	6,317	147,872	
		R 3	1,876	2,677	
	黒 石 市	H17	6,221	120,307	
	五所川原市				
	五所川原市	H30	4,952	19,664	
	五所川原市金木	H14	1,690	152,014	
	五所川原市市浦	H15	2,932	133,747	
	十 和 田 市	R 4	2,343	2,343	
	三 沢 市	H17	4,520	115,324	
		R元	4,299	18,081	
	む つ 市				
	む つ 市	H18	4,483	157,822	
		R 4	2,023	2,023	
	むつ市川内	—	—	—	R 3 廃止
	むつ市大畑	H 9	6	135,799	
	むつ市脇野沢	H17	3,058	119,555	
つ が る 市	H15	6,427	305,697		
	H16	7,028	157,784		
	H11	1,509	105,590		
平 川 市	R 2	4,195	7,232		
市 計			68,818	1,758,889	
東地区	平 内 町	H29	7,099	40,451	
	外ヶ浜町	H16	3,439	127,997	
	今 別 町	H28	6,206	38,526	
	蓬 田 村	R元	14,218	28,436	
西地区	鱒ヶ沢町	R 3	2,916	4,284	
	深 浦 町	H29	13,624	77,399	
中地区	西 目 屋 村	—	—	—	H25廃止
	板 柳 町	H15	2,682	105,815	
R 4		363	363		
南地区	藤 崎 町	R元	6,289	16,835	
	大 鰐 町	R 3	3,887	5,414	
	田 舎 館 村	H30	2,109	10,265	

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
北地区	中 泊 町	H28	4,310	40,524	
		H12	4,370	226,502	
	鶴 田 町	H30	5,451	28,767	
上北地区	野 辺 地 町	H20	3,364	79,203	
	七 戸 町	R 2	6,018	15,033	
	六 戸 町	H19	8,431	211,616	
	横 浜 町	H15	7,991	43,882	
	東 北 町	H17	5,531	95,067	
		R 3	6,876	7,537	
	六ヶ所村	H29	7,541	63,985	
下北地区	大 間 町	H19	3,772	136,037	
	東 通 村	H21	10,046	158,411	
	風 間 浦 村	R 2	3,996	8,190	
	佐 井 村	R元	11,984	35,243	
三戸地区	三 戸 町	H16	2,713	174,147	
		R 4	3,138	3,138	
	五 戸 町	H21	4,058	145,860	
	田 子 町	H28	4,565	36,206	
	南 部 町	H28	5,034	49,220	
	階 上 町	H20	2,283	106,283	
	新 郷 村	H16	6,664	215,962	
		R 2	7,995	16,735	
おいらせ町	H17	6,504	237,565		
	H18	5,062	132,948		
町 村 計			200,529	2,723,846	
合 計			269,347	4,482,735	



2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

令和4年度の学年別養成者は次のとおりである。

赤十字看護教育施設	学 年	人 数
日本赤十字秋田看護大学	1年	2名
	2年	1名
	3年	2名
	4年	1名
計	6名	



3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

講習普及事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況や活動制限措置等に配慮しながら、一部実技の制限等を設け、以下のとおり講習普及を行った。

(1) 講習会実施状況

① 赤十字救急法

短期講習については、日常生活における事故の防止、手当の基本、心肺蘇生法等の短期講習を人と人が接触しない等の制限のもと実施した。

基礎講習については、暫定措置のもと、対象を限定して実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
基礎講習	25	441	441	441
救急員養成講習	9	212	212	212
短期講習	91	2,541	—	—
計	125	3,194	653	653

② 赤十字水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を人と人が接触しない等の実技の制限のもと実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
救助員Ⅰ養成講習	1	1	1	1
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
短期講習	5	292	—	—
着衣泳講習会	4	276	—	—
計	10	569	1	1

③ 赤十字幼児安全法

子どもを社会全体で育むうえで、大切な自助・互助・共助・公助を踏まえて、子どもの命を守るために必要な接し方や、事故の予防・手当・看病の方法を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	1	3	3	3
指導員養成講習	1	3	3	3
短期講習	2	33	—	—
計	4	39	6	6

※健康生活支援講習の実施はなかった。

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。(令和5年3月31日現在)

区分	赤十字職員		ボランティア (人)	合計 (人)
	支部 (人)	施設 (人)		
救急法	11	17	60	98
水上安全法	0	1	29	30
雪上安全法	0	0	0	0
健康生活支援講習	0	1	4	5
幼児安全法	4	4	6	14

(3) 講習普及事業における特色ある事業

青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で実施されている「救急法コンクール」では、県内青少年赤十字メンバーによる救急法を用いた実技協議会が開催されている。当支部では、このコンクールに向けた講習の実施、出場チームへの指導、コンクール当日の審査などの支援協力を行っている。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、規模・競技法を見直し実施した。各チームが日頃の練習の成果を出し、競い合った。

第43回青森県高等学校総合文化祭 赤十字部門「救急法コンクール」

1. 月 日 令和4年10月22日（土）
2. 会 場 東奥義塾高等学校 礼拝堂
3. 出場チーム 青森明の星高等学校A、青森明の星高等学校B、県立木造高等学校、
県立弘前高等学校、弘前東高等学校、県立七戸高等学校、
千葉学園高等学校、県立八戸東高等学校、県立八戸西高等学校



RABアナウンサーによる基礎講習の様子



弘前大学での養成講習の様子

(4) 子育て支援等に関する連携協定の締結

- ・十和田市（令和4年8月23日）

緊密な相互連携と協働による活動を推進し、子どもたちが健やかに育ち、社会全体で子育てを支えながら、全ての市民に安全・安心な社会を提供することを目的として、連携協定を締結した。

【連携事項】

- ・子ども救命処置講習に関すること
- ・子育て支援の向上に関すること
- ・その他、地域の安全・安心に関すること

※令和4年度は、子どもの救命処置等の講習を9回、92名に対して実施した。



連携協定締結式の様子
右は小山田十和田市長



4. 赤十字奉仕団

県内の赤十字奉仕団は、各市町村に組織されている地域赤十字奉仕団と、支部直轄の青年・特殊赤十字奉仕団で組織され、総勢7,000名以上の団員で構成されている。

令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限されたが、感染対策を行いながらの防災研修やコロナ禍ならではのオンラインを使用した研修会など、コロナ禍のニーズを汲み取った活動をする奉仕団が多く見られた。なお、令和4年度は下記のテーマ・方針のもと各種活動に取り組んだ。

(1) 赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動
——地域と連携し防災・減災を普及しよう——

(2) 赤十字奉仕団育成強化方針

赤十字奉仕団は、赤十字の基本理念である「人道」の実現を第一の使命として、戦後まもなく全国各地に結成され、身近な地域社会においてボランティア活動を実践することを目的とし、日本赤十字社を支える大きな力として赤十字事業の推進にあたってきた。

近年、地震や大雨、台風等の自然災害の多発化や被害の大規模化により、被災者支援ボランティアに寄せられる期待は高まっている。

一方、自助を基盤とした地域コミュニティの防災・減災への取り組みが重要視されており、その一環として、赤十字奉仕団としても平時から地域住民や行政、各種団体等との連携を図ることが求められている。

また、少子高齢化社会において、赤十字奉仕団として安定的かつ継続的な社会活動の推進や、より良い地域づくりのための一助となるべく、誰もが参加しやすいボランティア環境を整備する必要がある。

これまで培ってきた知識や経験、赤十字の強みである組織力を十分に生かし、社会のニーズを反映した主体的で積極的な奉仕団活動の促進と、災害時における連携強化を図っていく。

また、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策に十分に留意し、地域の実情に合った奉仕団活動を推しすすめる。

(3) 赤十字奉仕団重点施策

1. 災害への備えと活動の強化
2. 地域との連携と他団体や奉仕団相互との協働の推進
3. 地域のニーズに即した主体的で積極的な赤十字奉仕団活動の促進
4. 赤十字奉仕団員の意識向上やスキルアップのための研修の充実・強化
5. 広報活動の充実・強化
6. 赤十字会員増強・活動資金増収運動への協力

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（令和5年3月31日現在）

① 令和4年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地域奉仕団	47	204	1,126	5,641	6,767
青年奉仕団	4	0	52	128	180
特殊奉仕団	9	25	348	296	644
合 計	60	229	1,526	6,065	7,591

② 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
令和4年度	60	229	1,526	6,065	7,591	
令和3年度	59	237	1,522	6,206	7,728	
令和2年度	59	245	1,738	7,594	9,332	
令和元年度	60	248	1,743	7,666	9,409	



ウクライナ人道支援コンサートで救済金を募集する七戸町赤十字奉仕団員



ハイゼックス袋を使用した炊出しの方法を教える小泊赤十字奉仕団員



合同防災研修会で包帯法を実施する三沢市赤十字奉仕団員

(5) 赤十字奉仕団組織現況（令和5年3月31日現在）

① 地域奉仕団

令和5年3月31日 現在

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計	組織母体
市	青森市	S33.9.9	内海貞子	4	6	6	122	128	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分団	S34.9.30	小倉保英	0	0	18	125	143	民生委員 保健協力員
	弘前市	H20.4.1	小柳紀八郎	14	69	191	780	971	婦人有志 町会有志
	黒石市	S33.5.20	北山リッ	2	6	0	47	47	連合婦人会
	五所川原市	S33.9.15	小野慶子	6	4	0	368	368	連合婦人会 市民有志
	金木町	S50.3.27	外崎れい子	5	0	0	151	151	連合婦人会
	市浦	S51.4.30	木津谷清蔵	5	33	0	59	59	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H17.1.1	畑中チヨ	9	23	148	171	319	婦人・町内有志
	三沢市	S50.7.12	沼田弘子	3	0	3	97	100	婦人有志・市民有志
	むつ市	S49.3.30	森小静子	5	0	15	50	65	町会有志 婦人会
	むつ市川内	S50.2.1	石倉司	0	8	2	160	162	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S50.6.28	濱田順子	8	0	0	104	104	連合婦人会
	むつ市大畑分団	S50.3.24	伝法百合子	6	0	2	104	106	連合婦人会他
	つがる市	H18.4.1	吉田博身	5	15	81	304	385	民生委員 婦人会行政連絡員
	平川市平賀	S52.1.27	小笠原勝則	5	0	27	98	125	ボランティアグループ
	平川市尾上	S33.9.19	西谷桂子	2	0	0	19	19	連合婦人会
	計 16団			79	164	493	2,759	3,252	
東地区	平内町	S48.10.9	三津谷志津子	3	11	0	90	90	婦人会
	外ヶ浜町	H17.4.1	高森キクエ	3	16	32	278	310	婦人会 町内有志
	今別町	S33.9.5	阿部和江	7	0	0	56	56	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬田村	S38.9.23	小野富美子	3	0	0	39	39	連合婦人会 婦人有志
		計 4団			16	27	32	463	495
西地区	鱒ヶ沢町	S53.8.11	尾崎陸男	6	31	27	179	206	民生委員 町内有志 婦人会
	深浦町	H18.4.1	堀内カツ	11	0	11	162	173	民生委員 連合婦人会
		計 2団			17	31	38	341	379
中南地区	西目屋村	S53.6.28	三上文子	3	0	1	31	32	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板柳町	S51.11.30	米澤ノブ子	0	0	0	22	22	婦人・町内有志
	藤崎町	H18.4.1	神ノブ子	2	13	0	108	108	婦人会
	大鰐町	S36.10.13	田中あゑ	0	0	0	38	38	婦人有志
	田舎館村	S51.8.9	工藤泰子	0	0	10	73	83	民生委員 保健協力員
		計 5団			5	13	11	272	283
北地区	鶴田町	S49.4.1	宮本弘子	2	0	0	23	23	婦人会
	中泊町分区分中里	S53.9.1	川島久幸	3	0	5	86	91	民生委員、婦人会
	中泊町分区分小泊	S36.10.13	秋元英子	3	0	6	85	91	婦人会 村内有志
		計 3団			8	0	11	194	205

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野辺地町	S33.9.1	太田 富江	4	0	0	54	54	連合婦人会
	七戸町	H21.4.1	盛田 恵津子	2	14	0	61	61	民生委員 更生保護女性会 手話サークル 婦人有志
	六戸町	S50.12.1	北川 茂志	0	0	2	20	22	婦人会有志
	横浜町	S50.2.14	竹田 礼子	4	0	5	59	64	民生委員 ボランティアグループ
	東北町	H17.12.15	原子 スワ子	0	0	0	39	39	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S51.12.24	葛西 奈栄子	0	0	5	106	111	子供会世話人 青年・婦人会有志
	計 6団				10	14	12	339	351
下北地区	大間町	S52.2.10	千葉 良司	2	0	0	83	83	婦人会
	東通村	S51.7.5	伊藤 貢子	6	0	0	80	80	連合婦人会
	風間浦村	S53.1.28	原子 恒子	4	0	0	64	64	連合婦人会
	佐井村	S36.10.13	内藤 要	15	0	158	200	358	婦人会有志 他
	計 4団				27	0	158	427	585
三戸地区	三戸町	S49.9.7	藤村 立夫	2	0	21	53	74	民生委員 婦人会
	五戸町	H16.7.1	川崎 由希子	9	0	1	161	162	連合婦人会
	田子町	S50.7.21	川村 武司	4	54	296	178	474	老人クラブ 自治会 婦人会 民生委員
	南部町	H18.4.1	新井山 美智子	11	7	27	179	206	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階上町	S36.10.13	山内 良子	3	13	1	47	48	有志
	新郷村	S50.2.27	佐藤 久美子	4	0	0	43	43	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18.4.1	徳永 幸雄	9	0	25	185	210	民生委員 老人クラブ 有志
	計 7団				42	74	371	846	1,217
合計 47団				204	323	1,126	5,641	6,767	

※地域奉仕団の地区区分は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいている板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。



青森県立保健大学めいと赤十字奉仕団による結団式

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計
青年奉仕団	平賀(休団)	S41.2.14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0
	佐井村	S56.4.1	田 中 伸 弥	0	0	22	11	33
	木浪学園赤十字ボランティア	H25.6.25	野 崎 沙 弥	0	0	19	106	125
	青森県立保健大学めいと	H34.10.2	藤 島 右 京	0	0	11	11	22
	計 4団			0	0	52	128	180
特殊奉仕団	点訳・音訳・デイジー編集	S44.1.19	柴 田 眞 理 子	7	6	14	163	177
	水上安全法	S37.7.25	江 良 直 志	0	0	14	18	32
	救急法	S44.11.12	西 村 芳 樹	5	0	51	33	84
	アマ無線	S47.5.21	佐 藤 啓 暉	7	0	93	1	94
	碓ヶ関家庭看護法	S52.3.8	大 川 富 子	0	0	2	18	20
	黒石市家庭看護法	S57.3.1	高 橋 チ ヨ	0	0	0	18	18
	岩木山パトロール隊	S59.4.29	一 戸 繁 輝	0	0	48	2	50
	支部家庭看護法	S61.11.18	山 本 初 枝	0	0	0	11	11
	青森県青少年賛助	H14.7.25	佐 藤 光 則	6	0	126	32	158
	計 9団			25	6	348	296	644

総計	団数	分団数	班数	男	女	合計
	60	229	329	1,526	6,065	7,591

(6) 令和4年度赤十字奉仕団支部委員会名簿

役 職	氏 名	所属奉仕団
委員長	沼 田 弘 子	三沢市赤十字奉仕団委員長
副委員長	小 野 慶 子	五所川原市赤十字奉仕団委員長
副委員長	森 小 静 子	むつ市赤十字奉仕団委員長

(7) 令和4年度赤十字奉仕団指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東青地区	工 藤 耕 弘	湯 沢 富 雄
西北五地区	小田川 修 三	野 呂 良 悦
中弘南黒地区	山 本 仁 志	五十嵐 敬 昌
上十三地区	河 島 靖 岳	天 内 不 二 子
むつ下北地区	吉 田 寛	二 本 柳 卓
三八地区	佐 藤 光 則	中 村 正

令和4年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

実施日	行 事 名	開催場所	対 象	
4	8日(金)	赤十字奉仕団指導講師会議	支部	指導講師
	22日(金)	赤十字奉仕団支部委員会 (県下委員長会議)	リンクステーションホール青森	奉仕団委員長
	23日(土)～ 24日(日)	青年赤十字奉仕団全国協議会	オンライン会議	青年奉仕団 全国協議会委員
5	19日(木)	全国赤十字大会	明治神宮会館	奉仕団員
	20日(金)	郡市地区・町村分区事務担当者研修会	オンライン会議	郡市地区・町村分区担当者
	30日(月)～ 31日(火)	赤十字奉仕団中央委員会	オンライン会議	沼田委員長、支部職員
6	24日(金)	赤十字奉仕団基礎研修会	リンクステーションホール青森	赤十字奉仕団員
7	6日(水)	支部赤十字奉仕団担当者会議	オンライン研修会	支部職員
8	20日(土)	青年赤十字奉仕団第1B協議会	オンライン会議	青年奉仕団 全国協議会委員
	25日(木)	上十三地区地区委員長事務担当者会議	オンライン会議	委員長、地区分区担当者
9	8日(木)	むつ下北地区委員長事務担当者会議	下北地域県民局	委員長、地区分区担当者
	11日(日)	青年赤十字奉仕団全国協議会	オンライン会議	青年奉仕団 全国協議会委員
	21日(水)	東青地区委員長事務担当者会議	オンライン会議	委員長、地区分区担当者
	27日(火)	中南地区委員長事務担当者会議	ホテル ニューキャッスル	委員長、地区分区担当者
10	19日(水)	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	オンライン会議	各委員長、団員
	25日(火)	むつ下北地区活動研究会	大間町総合開発センター	各委員長、団員 地区分区担当者
	28日(金)	西北地区委員長事務担当者会議	サンルート五所川原	委員長、地区分区担当者
11	11日(金)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (十和田市&七戸町)	十和田市民交流プラザトワール	奉仕団員
	18日(金)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (三沢市&六戸町)	三沢市総合社会福祉センター	奉仕団員
	21日(月)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (五所川原市&小泊)	小泊漁火センター	奉仕団員
	22日(火)	中南地区活動研究会	黒石市立黒石公民館	各委員長、団員 地区分区担当者
12	1日(木)～ 25日(日)	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉	関係者
1	28日(土)～ 30日(月)	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	日赤本社	天内指導講師
	28日(土)～ 30日(月)	赤十字ボランティア・リーダー研修会	日赤本社	奉仕団員
2	1日(水)～ 28日(火)	赤十字会員増強・活動資金 増強運動月間	県内一斉	関係者
	10日(金)	赤十字奉仕団強化推進会議	支部	支部委員会役員 指導講師
3	2日(木)	三戸地区委員長事務担当者会議	文書審議	委員長、地区分区担当者
	中止	三戸地区活動研究会	—	—



5. 青少年赤十字

青少年赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中で、望ましい人格と精神を自らつくりあげることを目的とした事業であり、教師等を指導者として、幼稚園・保育所（園）、小・中・高等学校、特別支援学校の中に組織され、「気づき、考え、実行する」という態度目標に基づき、学校・幼児教育の中で進められている。

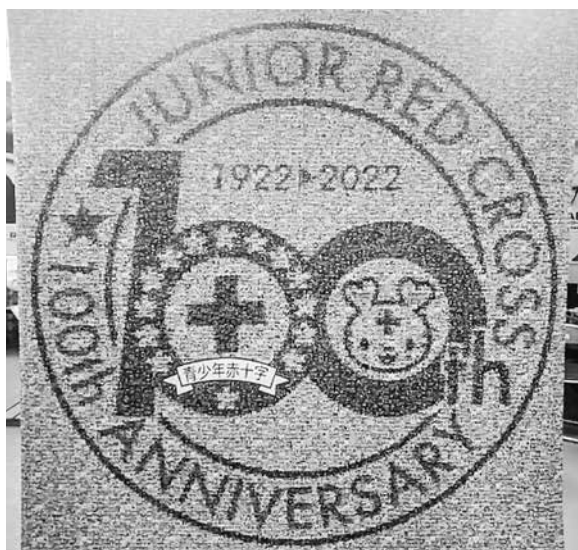
令和4年度においては、410の施設・学校から総数36,709名のメンバーが登録した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限されたが、感染対策を講じながら、各加盟施設・学校において各種の活動に取り組んだ。また、青少年赤十字創設100周年記念事業として「フォトモザイクアート」と「寄せ書き旗」の制作を行った。



城東保育園（弘前市）の施設訪問の様子



県支部主催リーダーシップ・トレーニング・プログラムの様子



青少年赤十字100周年記念フォトモザイクアート



青少年赤十字100周年記念寄せ書き旗

(1) 令和4年度青少年赤十字加盟登録状況

① 加盟施設・学校数

区分	加盟校数	加盟校数内訳		学級 グループ数	登録人員数		
		継続加盟	新規加盟		男	女	計
幼稚園	29	29	0	100	855	841	1,696
保育所(園)	174	173	1	675	4,659	4,611	9,270
小学校	104	104	0	839	8,415	7,927	16,342
中学校	49	49	0	362	3,906	4,463	8,369
高等学校	51	51	0	51	322	645	967
特別支援学校	3	3	0	18	40	25	65
計	410	409	1	2,045	18,197	18,512	36,709

※ 指導者数 4,900

② 加盟状況

幼稚園			
継続加盟	29	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	0		
脱退・休止	0		
保育所(園)			
継続加盟	174	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	1	戸山保育園分園クレヨン館(青森市)	
統廃合	0		
脱退・休止	2	鳥井野保育園(弘前市) / こどもの櫓(弘前市)	
小学校			
継続加盟	104	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	2	下切田小学校(十和田市) 杉沢小学校(三戸町)	
脱退・休止	0		
中学校			
継続加盟	49	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	1	杉沢中学校(三戸町)	
脱退・休止	1	東目屋中学校(弘前市)	
高等学校			
継続加盟	51	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	1	中里高等学校	
脱退・休止	0		
特別支援学校			
継続加盟	3	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	0		
脱退・休止	1	黒石養護学校	

③ 令和4年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

令和5年3月31日現在

東青地区							西北五地区						
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 野内	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木	1 五所川原商業	
	2 青中短2	2 幸畑	2 高田	2 浦町	2 東興学園	2 青森聾				2 三好	2 市浦	2 金木	
	3 青中短3	3 千富	3 荒川	3 佃	3 青森中央					3 三輪		3 五所川原	
	4 油川	4 佃	4 浪岡北	4 荒川	4 青森北					4 東峰		4 五所川原第一	
	5 東奥	5 泉川	5 浪岡南	5 東	5 明の星					5 栄			
	6 あすなる	6 あおりみなみこども園	6 本郷	6 西	6 青森東					6 金木			
		7 中央文化		7 戸山	7 青森					7 松島			
		8 若芽		8 浪岡	8 青森南					8 いずみ			
		9 戸山		9 筒井	9 青森工業					9 南			
		10 青森東こども園			10 青森山田						1 いなほ	1 柏	1 森田
		11 あかしや			11 浪岡			つがる市		2 菰植	2 穂波	2 車力	
		12 浪岡若葉こども園			12 北斗					3 しげた			
		13 しらゆり			13 青森商業					4 もりた			
		14 こども園 瑞穂								5 かしわこども園			
		15 合浦保								6 かしわあつふるこども園			
		16 ゆうゆうきつ青森							鯉ヶ沢町			1 西海	1 鯉ヶ沢
		17 浦町									2 舞戸		
		18 青森甲田こども園											
		19 青森山田こども園						深浦町		1 みはる	1 いわさき	1 大戸瀬	1 深浦校舎
		20 青森認定こども園								2 みよし	2 修道		
		21 戸山分園クレヨン館								3 えの木			
平内町	1 山彦	1 東和	1 山口				板柳町			1 板柳北			
		2 小湊	2 小湊										
		3 口広	3 東										
		4 山彦											
		5 青空											
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 三厩			中泊町	1 中里こども園		1 小泊			
今別町		1 今別こども園					鶴田町		1 水元			1 鶴田	
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田	1 蓬田									
校種別計	8	28	10	11	13	2	校種別計	2	11	17	6	7	0
地区合計	72						地区合計	43					

中弘南黒地区							上十三地区							
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	
弘前市		1 大東	1 石川 26 青柳	1 石川	1 弘前中央		十和田市	1 さつき	1 ほなみ	1 藤坂		1 三本木		
		2 高杉	2 東目屋 27 岩木	2 津軽	2 東奥義塾				2 十和田めぐみ	2 松陽		2 十和田西		
		3 ようせい	3 第三大成 28 自得	3 新和	3 弘前実業				3 きく	3 高清水		3 三本木農業		
		4 やまぶき	4 三省	4 第一	4 弘前工業				4 緑と太陽					
		5 めぐみ	5 ボランティア大開	5 第二	5 柴田学園				5 みきの					
		6 青女子	6 東	6 第三	6 弘前南		三沢市							
		7 大開	7 文京	7 第四	7 弘前			1 いちい	1 チャリティー第1	1 三川目		1 三沢商業		
		8 ふじこども園	8 城東	8 第五	8 弘前東			2 チャリティー第2						
		9 弘前すみれ	9 致遠	9 裾野			野辺地町					1 野辺地		
		10 こどもの城	10 新和	10 相馬			七戸町							
		11 ひまわり	11 小沢	11 北辰					1 榎林こども園	1 城南		1 七戸		
		12 致遠	12 大和沢	12 南				2 道ノ上こども園						
		13 若草	13 豊田				おいらせ町							
		14 城東	14 大成						1 錦ヶ丘					
		15 ふたば	15 時敏						2 あゆみ					
		16 堀越こども園	16 朝陽						3 川口					
		17 サンこども園	17 北						4 下田こども園					
		18 石川こども園	18 福村						5 本村こども園					
		19 大浦	19 子供の館				六戸町							
		20 こどもの城						1 ひのでこども	1 大曲	1 七百	1 六戸			
		21 桔梗野				横浜町		2 こども園おひさま	2 開知					
		22 高杉				東北町								
		23 西						1 中央ポプラ						
		24 船沢						2 水喰						
		25 城西						3 ポプラ						
西日屋村			1 西日屋					4 乙供文化						
黒石市		1 中郷こども園		1 中郷	1 黒石		六ヶ所村							
		2 アリス							1 千歳平こども園	1 千歳平		1 六ヶ所		
		3 美郷こども園						2 泊こども園						
		4 たけみ												
平川市		1 日の出こども園	1 碓ヶ関	1 平賀西	1 尾上総合									
		2 あらや		2 碓ヶ関										
		3 大坊こども園												
		4 はすね												
		5 碓ヶ関中央こども園												
		6 高城こども園												
		7 平賀あすなろ												
		8 平川中央こども園												
藤崎町			1 常盤	1 藤崎										
			2 藤崎	2 明德										
			3 藤崎中央											
大鰐町	1 おおわに文化													
田舎館村		1 田舎館こども園	1 田舎館											
校種別計	1	32	34	17	10	0	校種別計	2	23	8	1	8	0	
地区合計			94				地区合計			42				

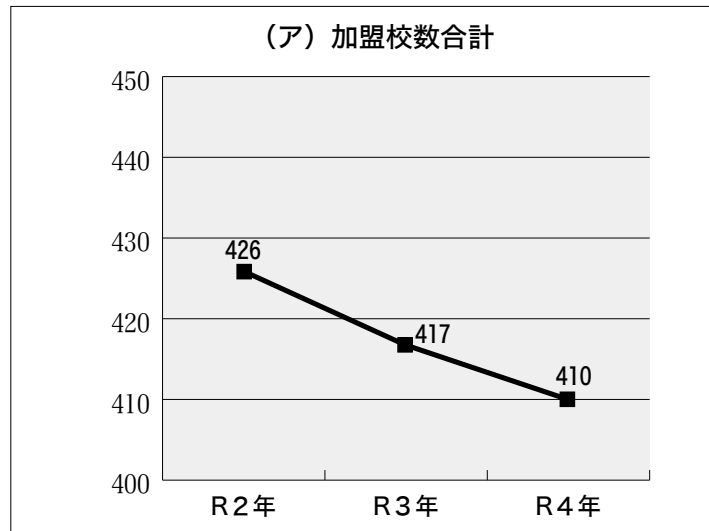
むつ下北地区							三八地区								
市町村名	幼稚園	保育園 (所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園 (所)			小学校	中学校	高等学校	特別支援
むつ市	1 あたご	1 エピナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 藤覚	51 江陽こども園	1 多賀		1 千葉学園	1 田小ひまわり
	2 むつひまわり	2 大畑中央	2 正津川		2 田名部			2 かもめ	2 こざくら	27 白銀台	52 旭ヶ丘	2 鮫		2 八戸東	
	3 星美	3 柳町ひまわり	3 関根		3 大湊			3 こもれびの森	3 浜市川	28 南売市	53 新井田	3 吹上		3 八戸西	
		4 小畑第二百合	4 第三田名部					4 高館	4 轟木	29 おおきこども園	54 小久保	4 江南		4 八戸商業	
		5 よしの	5 奥内					5 長者	5 さめ	30 ひまわり	55 日計	5 新井田		5 八戸	
		6 大平	6 大畑					6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 こどもの城	56 第二さえずりの森	6 島守		6 八戸工業	
		7 近川						7 八戸学院	7 すみれ	32 白山台		7 桔梗野		7 八工大一高	
		8 並木						8 第二しのめ	8 テレジア	33 うぐいす				8 八工大二高	
		9 白百合						9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 太陽と海の子				9 向陵	
		10 ゆきのこ							10 岬台	35 下長こども園				10 八戸学院光星	
		11 海の子							11 多賀台	36 小中野					
		12 あすなろ							12 大杉平	37 しみず					
		13 苦生ひまわり							13 中居林こども園	38 白鷗					
大間町	1 大間	1 うみの子	1 奥戸	1 大間			14 虹の丘	39 類家							
東通村		2 大間	2 大間	1 東通			15 三条	40 河原木中央							
風間浦村		1 風間浦	1 佐井	1 佐井			16 びりのかげエディカレ	41 桐の葉							
佐井村		1 佐井村	1 佐井	1 佐井			17 エンゼル子どもの家	42 明星こども園							
							18 尻内	43 サンフラワー							
							19 根城こども園	44 福聚							
							20 木の実園	45 むつみ							
							21 三島	46 ほうりん							
							22 すぎのこ	47 貴福							
							23 根岸	48 是川							
							24 びりのかげウィング	49 こぼと							
							25 湊	50 さえずりの森							
							三戸町	1 ミューズ				1 三戸			
							五戸町	1 江渡	1 めぐみ		1 五戸	1 五戸			
											2 上市川	2 倉石			
											3 切谷内				
							田子町	1 田子			1 田子	1 田子			
											2 上郷				
											3 清水頭				
							南部町	1 あかね	1 チェリー		1 南部	1 南部			
								2 福地		2 剣吉	2 福地				
										3 向	3 杉沢				
										4 名久井	4 名川				
										5 名川南					
										6 福地					
										7 杉沢					
										8 福田					
							階上町	1 石鉢		1 石鉢	1 道仏				
								2 階上		2 階上	2 階上				
								3 道仏		3 赤保内					
										4 道仏					
							新郷村								
校種別計	4	17	10	4	3	0	校種別計	12	63	25	10	10	1		
地区合計	38						地区合計	121							

県計	幼稚園	保育園 (所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
令和4年度末計	29	174	104	49	51	3
総計	410	※令和3年度末加盟校数 417校 △7校				

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

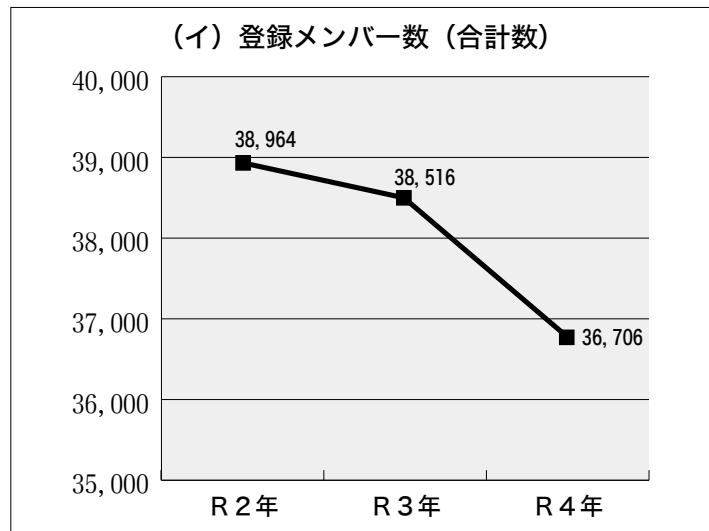
(ア) 加盟校数合計

年度	学校数
R 4 年	410
R 3 年	417
R 2 年	426



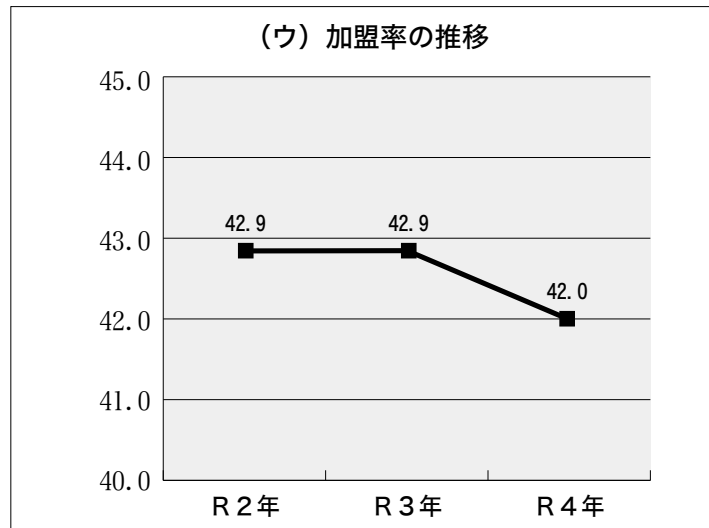
(イ) 登録メンバー数合計

年度	登録メンバー数
R 4 年	36,709
R 3 年	38,516
R 2 年	38,964



(ウ) 加盟率の推移 ※幼保を除く

年度	加盟率
R 4 年	42.0
R 3 年	42.9
R 2 年	42.9



(2) 青少年赤十字関連研修会・会議開催状況

① 本社主催研修会・会議

名 称	開催月日	開催場所 (開催形式等)	参加者
青少年赤十字創設100周年 オープニングイベント	5月5日(木)	Web会議方式	加盟中学校・高等学校 県指導者協議会長・副会長 地区指導者協議会長 青少年赤十字指導講師
全国指導者協議会総会・ 研修会	6月29日(水)	Web会議方式	(代理)県指導者協議会会長1名
全国賛助奉仕団協議会 役員会・総会	7月13日(水) ～ 7月15日(金)	日本赤十字社本社	賛助奉仕団委員長1名
青少年赤十字創設100周年 国際交流事業	第1部 10月2日(日) 第2部 11月5日(土)・ 6日(日)	Web会議方式	高校生メンバー6名 指導者1名
スタディー・プログラム (高校生メンバー対象)	第1部 3月21日(火) 第2部 3月25日(土)	第1部： Web会議方式 第2部： 日本赤十字社本社	高校生メンバー2名 支部職員1名

② ブロック(担当支部)主催研修会・会議

名 称	開催月日	担当支部	参加者
青少年赤十字創設100周年 第1B支部高等学校青少年 赤十字交流会	10月1日(土) ～ 10月2日(日)	福島県支部	高校生メンバー4名 指導者1名 支部職員1名
第1B賛助奉仕団会議	10月20日(木)	岩手県支部	第1B賛助奉仕団員18名参加
第1B指導者研究会	1月13日(金)	宮城県支部	第1B指導者13名参加

③ 支部主催研修会・会議

名 称	開催月日	開催場所 (開催形式等)	参加者
指導講師会議	4月15日(金)	日赤青森県支部	青少年赤十字指導講師10名
県指導者協議会理事会・ 指導主事等対象研修会	7月8日(金)	県総合社会教育 センター	県青少年赤十字指導者協議会 役員
青少年赤十字高校 リーダーシップ・ トレーニングプログラム	7月28日(木) 7月29日(金)	Web会議方式	高校生メンバー60名参加 指導者養成講習会3名参加 指導スタッフ9名
	7月30日(土)	アスパム	
青少年赤十字高校 リーダー研修プログラム	1月5日(木) 1月6日(金)	Web会議方式	高校生メンバー52名参加 指導者養成講習会1名参加 指導スタッフ6名 サブスタッフ1名
	1月7日(土)	アスパム	

④ 関係機関・団体の行事

名 称	開催月日	担当支部	参加者
高総文青少年赤十字部門大会 (中南・西北大会)	10月22日(土)	東奥義塾高等学校	支部職員6名
県賛助奉仕団総会	6月10日(金)	日赤青森県支部	県賛助奉仕団員 県指導者協議会長1名 支部職員2名

(3) 令和4年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員

役 職 名	氏 名	所 属 校 (施 設)
会 長	三 橋 一 晃	五所川原市立南小学校長
副会長(幼・保)	田 頭 正 嗣	高館幼稚園長
副 会 長 (小)	大 島 忍	佐井村立佐井小学校長
副 会 長 (中)	中 村 薫	青森市立北中学校長
副 会 長 (高)	吉 田 繁 徳	県立八戸中央高等学校長

(4) 令和4年度青少年赤十字指導講師

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	工 藤 耕 弘
西 北 五 地 区	近 藤 徹	鶴 賀 一 昭
中弘南黒地区	田 中 均	
上十三地区	丸 井 英 子	川 崎 守
むつ下北地区	沢 田 要 一	中 村 聡
三 八 地 区	中 村 正	
高等学校担当	瀧 本 ひろみ	

令和4年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

県役員	事項/地区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む っ 下 北		三 八	
	所 属	氏 名	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
会長・三橋 一晃 副会長・田頭 正嗣 大島 忍 中村 薫 吉田 繁徳	理事	会 長	中村 薫	青森北中	三橋 一晃	五所川原南小	葛西 孝司	津軽中	三上菜穂子	藤坂小	大島 忍	佐井小	釜田 信子	剣吉小
		副 会 長	蛇名 将之 菊池 信吾 中居 敬子 久保田千夏	あおりみなみこども園 小湊小 青森東中 青森南高	工藤 敦子 小島 史靖 (なし) 下山美智子	しげた保 栄小 五所川原商業高	鈴木ちづ子 鎌田 猛 藤田 盛浩 菊地 建一	碓ヶ関中央こども園 岩木小 明徳中 弘前中央高	山内 豪士 小笠原小百合 見友 健二 川代由美子	きく保 高清水小 七百中 六ヶ所高	笹原 芳彦 長根 朋子 佐々木倫哉 千葉 栄美	並木保 奥内小 佐井中 大湊高	田頭 正嗣 小野 隆雄 夏坂 俊史 佐藤 俊之 渡辺 学	高館幼 道仏小 杉沢小 倉石中 八戸西高
	専門委員	幼 児 部 会	小泉 隆人 蝦名 崇子 石村 康弘	幸畑保 山彦幼 しらゆり保	工藤 敦子	しげた保	佐藤 壽子 毛利シゲ子 中村 得仁	堀越こども園 サンこども園 やまぶき保	長嶺 寿子 古田 秀子 熊野 博文 蛭澤 正雄	ひのでこども園 いちい幼 川口保 中央ポブラ保	笹原 芳彦 中野 正子 品木扶美子 斉藤 典子	並木保 並木保 ゆきのこ保 エビナ保	小澤 一雅 田村 元 須川真也子 江渡 恵一 植村 宗和	すみれ保 長者幼 テレジア保 めぐみ保 いちのさわ保
		小 学 校 部 会	出貝 幸浩 中屋久美子 浅利 徳幸	浪岡南小 山口小 本郷小	松山 伸 外崎 淳郎 鈴木あゆみ	金木小 松島小 東峰小	齋藤真貴子 小島早耶子	田舎館小 岩木小	畑山ゆかり 江渡 勇 乘田 育人	大曲小 三川目小 開知小	長根 朋子 平田あけみ 南谷 保子 西村 裕	奥内小 佐井小 五戸小 正津川小	佐藤 恵利 河原木怜奈 三橋 秀平 圓子 徹哉	吹上小 江南小 五戸小 福田小
		中 学 校 部 会	山田 大介 横山 公一 笹 弘道	筒井中 三厩中 浪岡中	会津記理子	森田中	石岡 卓彦 幸山 一成 外崎 靖生 山口 拓己	第四中 第五中 津軽中 第一中	見友 健二	七百中	佐々木倫哉 山本奈々子 山崎 健也 成田 浩一	佐井中 佐井中 東通中 脇野沢中	佐々木 亨 工藤 靖 長尾 祐子	福地中 名川中 田子中
		高 校 部 会	平山しのぶ 白取 静子 石塚 智美 安江 道子	青森西高 青森山田高 東奥学園高 青森東高	鈴木 則子 相馬 与乃 外崎 恵子 田中 萌	木造高 五所川原商業高 鶴田高 五所川原第一高	佐藤 有代 水木 禎人 島村 千景	弘前南高 弘前中央高 弘前実業高	戸来 温 米田 哲子 上篠 洋子 玉籠香奈子	六ヶ所高 三本木高 三本木農・三本木農 七戸高	千葉 栄美 岡嶋 理子 傳法 宏美	大湊高 大湊高 むつ工業高	天坂 美幸 山崎由美子 相内 美羽	八戸工業高 八工大第二高 千葉学園高
	地区指導者	事務局 長	加福 欣克	青森北中	三橋 一晃	五所川原南小	葛西 孝司	津軽中	三沢 正幸	藤坂小	大島 忍	佐井小	仲山 啓	剣吉小
		局 員	小西 静子	青森北中	石岡 春菜	五所川原南小	成田 一志 小沢 悠	津軽中 津軽中	野坂 洋一 沢田 深雪 早川 直美	藤坂小 藤坂小 藤坂小	平田あけみ 岡嶋 理子 中野 正子	佐井小 大湊高 並木保	佐々木 亨 中村 俊康	福地中 吹上小
	地区事務局長	所 在	〒038-0052 青森市清水字浜元135の1 青森市立北中学校内 TEL017(754)2002Fax017(754)2084		〒037-0043 五所川原市字進沼2 五所川原市立南小学校内 TEL0173(34)3665Fax0173(34)3677		〒036-1331 弘前市五代早稲田478 弘前市立津軽中学校内 TEL0172(82)3004Fax0172(82)3034		〒034-0041 十和田市相坂字小林355-1 十和田市立藤坂小学校内 TEL0176(23)2222Fax0176(23)2473		〒039-4711 佐井村佐井字糠森103の3 佐井村立佐井小学校内 TEL0175(38)2262Fax0175(38)4455		〒039-0612 三戸郡南部町剣吉大館10-1 南部町立剣吉小学校内 TEL0178(75)0009Fax0178(75)1779	
		部 会 長	蛇名 将之	あおりみなみこども園	工藤 敦子	しげた保	奈良岡秀紀	ふたば保	山内 豪士	きく保	笹原 芳彦	並木保	田頭 正嗣	高館幼
	地区事務局員	部 会 長	鎌田 昭子	青森甲田こども園	長内まり子	しげた保	山内 仁美	おおわに文化幼	山内 幸子	きく保	中野 正子	並木保	原田 輝子	みどりの風北ウイング
		所 在	〒030-0855 青森市北金沢2丁目1番地6 青森甲田こども園内 TEL017(776)8680Fax017(718)3884		〒037-0102 つがる市稲垣町繁田母衣掛27-19 しげた保育園内 TEL0173(46)2250Fax0173(46)2275		〒036-8171 弘前市取上3丁目6-17 ふたば保育園内 TEL0172(33)1207Fax0172(33)1633		〒034-0038 十和田市西十四番町6-3 きく保育園内 TEL0176(23)9066Fax0176(23)9066		〒035-0046 むつ市南町9番36号 並木保育園内 TEL0175(22)6500Fax0175(22)7322		〒039-1113 八戸市西白山台4-1-16 みどりのかぜ北ウイング内 TEL0178(27)3311Fax0178(27)3312	
地区事務局高	部 会 長	久保田千夏	青森南高	下山美智子	五所川原商業高	菊地 建一	弘前中央高	川代由美子	六ヶ所高	千葉 栄美	大湊高	渡辺 学	八戸西高	
	局 員	川崎 陽子	青森南高	相馬 与乃	五所川原商業高	水木 禎人	弘前中央高	戸来 温	六ヶ所高	岡嶋 理子	大湊高	諏訪 節子	八戸西高	
指導講師	所 在	〒030-0856 青森市西大野二丁目12番40 県立青森南高等学校内 TEL017(739)3421Fax017(739)8373		〒037-0004 五所川原市唐笠柳字藤巻80 五所川原商業高等学校内 TEL0173(35)5151Fax0173(34)5151		〒036-8550 弘前市蔵主町7-1 県立弘前中央高等学校内 TEL0172(35)5000Fax0172(32)1659		〒039-3215 上北郡六ヶ所村倉内字笹崎305 県立六ヶ所高等学校内 TEL0175(74)2304Fax0175(74)2377		〒035-0096 むつ市大湊大近川44-84 県立大湊高等学校内 TEL0175(24)1244Fax0175(24)1245		〒039-1101 八戸市尻内町中根市14 県立八戸西高等学校内 TEL0178(27)5365Fax0178(27)5366		
	指 導 講 師	石村 光也 工藤 耕弘		近藤 徹 鶴賀 一昭		田中 均 瀧本ひろみ (高校)		丸井 英子 川崎 守		沢田 要一 中村 聡		中村 正		



6. 国際活動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界192の国と地域の赤十字（赤新月社）と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手をさしのべると共に国際親善の強化に努めている。

国際赤十字・赤新月社連盟は、大規模災害発生に備え、ERU（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型ERUを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部管内ではERU要員1名を有している。

(1) 国際援助活動

①NHK海外たすけあい（第40回）

窓口区分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支部扱い	支部管内取扱	120	692,883
	NHK各放送局	1	37,200
	地方銀行	29	445,943
合計		150	1,176,026

②海外救援金受付状況

救援金名	取扱件数（件）	取扱金額（円）
中東人道危機救援金	4	11,097
バングラデシュ南部避難民救援金	4	11,614
アフガニスタン人道危機救援金	9	25,141
ウクライナ人道危機救援金	126	6,323,335
2022年アフガニスタン地震救援金	13	109,454
2022年パキスタン洪水救援金	8	28,946
2023年トルコ・シリア地震救援金	132	4,193,167
合計	296	10,702,754

(2) 国際協力事業

○救急法普及支援事業

ラオス赤十字社が行う救急法普及事業に対して、財政支援や資機材整備支援等をはじめ、指導者のスキルアップのための技術指導の支援等を実施している。

○青少年赤十字海外支援事業

バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業及びボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

◎国際協力事業に対する令和4年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	6,000,000円
内、当支部負担額	612,000円

(3) 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部と連携し、相互事業への協力を行っている。



7. 社会福祉事業

○青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第7項及び第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を主として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障害児を入所させて、保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障害児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障害者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障害者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与している。

(オ)短期入所（空床型）

障害者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障害児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障害児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障害児（者）の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児（者）延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延	9, 0 2 2人（1日平均 24.7人）
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延	9, 0 2 9人（1日平均 24.7人）
(ウ)医療型児童発達支援センター	延	1, 7 2 3人（1日平均 7.1人）
(エ)短期入所	延	2 2人（1日平均 0.1人）
(オ)生活介護	延	9 5 0人（1日平均 3.9人）
(カ)外来患者数	延	1 0, 9 6 8人（1日平均 45.1人）

③ 医療社会活動

活動内容	派遣先	日数(日)	派遣人員(人)
療育相談	上十三保健所	10	10
	むつ保健所	4	4
在宅重度身体障害者 訪問診査	三沢市	2	6
	おいらせ町	1	3
小・中学校脊椎側彎症等 運動器学校検診	八戸市	23	23
合計		40	46



入学を祝う会 令和4年4月11日



節分豆まき 令和5年2月2日



8. 医療事業

○八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、赤十字の理念や赤十字思想の実践を通じ、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院（救急告示病院）、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域の救急医療、質の高い医療、災害救護に取り組んでいる。

新型コロナのオミクロン株による全国的な感染拡大が繰り返され、地域医療に支障を来すことがないように関係機関とお互いに協力しながら診療体制の確保に努めた。また、行政のPCR検査や発熱者外来、入院診療、ワクチン接種、休日夜間急病診療所への職員派遣等、新型コロナの重点医療機関として積極的に新型コロナの対応に協力してきた。また、救急患者を断らないという病院方針を堅持し、一般診療の提供も継続して行い、八戸地域保健医療圏の医療の充実・安定に努めた。

災害救護に関しては、新型コロナ感染症の影響により訓練等は中止になったが、積極的にWeb研修を受講するなど災害救護に関する新たな知識の習得に励んだ。

経営状況については、入院収益は、新型コロナ感染症患者の受入れに伴う病床運用の影響を受けつつも、手術件数やリハビリ件数の増加により診療単価が大幅に伸び、前年度収益額を上回った。外来収益は、新型コロナ感染症の検査・治療の患者数が下半期以降に大幅に減少したこともあり前年度収益額を下回った。医業収支は赤字であったものの、新型コロナ感染症に係る補助金助成の継続により、総収支は黒字となった。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの変更により、行政関与の縮小や診療報酬上の特例措置の廃止・縮小など大きな転換期を迎える。地域医療の確保と新型コロナへの対応を両立しながら、健全な経営を維持し、基本理念の実践に向けて取り組んでいかなければならないと考えている。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床 374床 一般病棟入院基本料 7：1

精神病床 60床 精神病棟入院基本料 10：1 計 434床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病内科、血液内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 111,539人（一日平均 302.8人 前年度比 △2.1人）

イ. 外来患者 153,028人（一日平均 629.7人 前年度比 △19.1人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

令和4年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職員	その他	計
母 親 学 級	0	0	0	0	0	0
栄 養 相 談	276(回)	1	50,807	1,046	0	1,046
各 種 検 診	51	2	2,674	51	0	51
患 者 慰 安	0	0	0	0	0	0
健 康 生 活 支 援 講 習 会	0	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生 ・ A E D 講 習 会	0	0	0	0	0	0
訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0
育 児 相 談	49	1	693	294	0	294
保 健 指 導	0	0	0	0	0	0



救護班基礎研修 令和4年7月6日



八戸市総合防災訓練 令和4年9月4日



9. 血液事業

○青森県赤十字血液センター

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め、確実な事業を遂行している。

令和4年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血2025」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

令和4年度の献血受け入れ計画は、県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため、献血者数47,048人、目標量20,720.2Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、青森県赤十字血液センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、コロナ禍の影響で献血会場の中止や延期が発生する中においても献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

令和4年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は47,127人で、前年度に比較すると535人の減となり、対前年比では98.9%となった。(令和3年度の献血者は47,662人)

献血量は20,581.8Lで、前年度に比較すると195.2Lの減となり、対前年比では99.1%となった。(令和3年度の献血量は20,777.0L)

(2) 供給状況

県内医療機関(病院等)への血液製剤供給本数は、200mL換算で192,915単位となり、前年度に比較すると908単位の減、対前年比では99.5%となった。(令和3年度の供給本数は193,823単位)

(3) 令和4年度 月別施設別献血状況

① 令和4年度月別施設別献血状況（4～3月）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青森バス	2 0 0 mL	25	14	18	77	19	39	129	32	17	68	4	7	449
	4 0 0 mL	1,285	1,332	1,416	1,337	1,279	1,360	1,466	1,418	1,475	1,320	1,316	1,430	16,434
	計	1,310	1,346	1,434	1,414	1,298	1,399	1,595	1,450	1,492	1,388	1,320	1,437	16,883
	確保量(L)	519.0	535.6	570.0	550.2	515.4	551.8	612.2	573.6	593.4	541.6	527.2	573.4	6,663.4
	稼働日数 一台平均	37 35.4	35 38.5	37 38.8	37 38.2	36 36.1	37 37.8	40 39.9	39 37.2	41 36.4	39 35.6	34 38.8	39 36.8	451 37.4
八戸バス	2 0 0 mL	5	7	28	46	28	47	58	90	52	7	14	2	384
	4 0 0 mL	593	649	744	714	641	558	633	609	651	746	605	661	7,804
	計	598	656	772	760	669	605	691	699	703	753	619	663	8,188
	確保量(L)	238.2	261.0	303.2	294.8	262.0	232.6	264.8	261.6	270.8	299.8	244.8	264.8	3,198.4
	稼働日数 一台平均	16 37.4	16 41.0	16 48.3	16 47.5	16 41.8	16 37.8	16 43.2	16 43.7	16 43.9	16 47.1	14 44.2	16 41.4	190 43.1
全血バス合計	2 0 0 mL	30	21	46	123	47	86	187	122	69	75	18	9	833
	4 0 0 mL	1,878	1,981	2,160	2,051	1,920	1,918	2,099	2,027	2,126	2,066	1,921	2,091	24,238
	計	1,908	2,002	2,206	2,174	1,967	2,004	2,286	2,149	2,195	2,141	1,939	2,100	25,071
	確保量(L)	757.2	796.6	873.2	845.0	777.4	784.4	877.0	835.2	864.2	841.4	772.0	838.2	9,861.8
	稼働日数 一台平均	53 36.0	51 39.3	53 41.6	53 41.0	52 37.8	53 37.8	56 40.8	55 39.1	57 38.5	55 38.9	48 40.4	55 38.2	641 39.1
青森 ル ム	2 0 0 mL	17	24	24	17	21	14	28	11	17	9	20	16	218
	4 0 0 mL	277	353	315	279	239	322	318	296	399	259	315	353	3,725
	血漿	440	435	462	487	478	477	534	465	471	445	429	505	5,628
	血小板(分割)	112	124	97	97	93	91	74	85	80	69	65	72	1,059
	血小板(分割以外)	64	78	60	65	41	36	30	23	29	48	21	45	540
	計	910	1,014	958	945	872	940	984	880	996	830	850	991	11,170
	確保量(L) 稼働日数 一日平均	450.7 30 30.3	493.7 31 32.7	468.5 30 31.9	468.8 31 30.5	434.5 31 28.1	462.1 30 31.3	481.4 27 36.4	434.6 25 35.2	480.3 26 38.3	411.6 26 31.9	411.7 24 35.4	483.5 28 35.4	5,481.3 339 32.9
弘前 ル ム	2 0 0 mL	27	24	21	24	15	16	33	18	23	21	23	16	261
	4 0 0 mL	280	361	368	328	306	326	359	316	483	288	337	386	4,138
	血漿	402	439	398	464	392	391	452	397	398	355	392	408	4,888
	血小板(分割)	53	56	61	80	77	78	71	78	86	95	75	89	899
	血小板(分割以外)	62	57	57	47	35	44	55	54	63	85	63	78	700
	計	824	937	905	943	825	855	970	863	1,053	844	890	977	10,886
	確保量(L) 稼働日数 一日平均	397.8 30 27.5	449.0 31 30.2	431.8 30 30.2	458.4 31 30.4	401.0 31 26.6	413.7 30 28.5	464.8 31 31.3	418.3 30 28.8	495.8 30 35.1	410.2 31 27.2	427.7 28 31.8	470.2 31 31.5	5,238.7 364 29.9
合 計	目 標													
	2 0 0 mL	74	69	91	164	83	116	248	151	109	105	61	41	1,312
	4 0 0 mL	2,435	2,695	2,843	2,658	2,465	2,566	2,776	2,639	3,008	2,613	2,573	2,830	32,101
	血漿	842	874	860	951	870	868	986	862	869	800	821	913	10,516
	血小板(分割)	165	180	158	177	170	169	145	163	166	164	140	161	1,958
	血小板(分割以外)	126	135	117	112	76	80	85	77	92	133	84	123	1,240
	合計	3,642	3,953	4,069	4,062	3,664	3,799	4,240	3,892	4,244	3,815	3,679	4,068	47,127
	確保量(L)	1,605.7	1,739.3	1,773.5	1,772.2	1,612.8	1,660.1	1,823.2	1,688.1	1,840.3	1,663.2	1,611.4	1,791.9	20,581.8
	稼働日数 一日平均	113 32.2	113 35.0	113 36.0	115 35.3	114 32.1	113 33.6	114 37.2	110 35.4	113 37.6	112 34.1	100 36.8	114 35.7	1,344 35.1
初回献血者数(人)	252	268	257	371	187	267	458	329	272	203	198	193	3,255	
再来献血者数(人)	3,390	3,685	3,812	3,691	3,477	3,532	3,782	3,563	3,972	3,612	3,481	3,875	43,872	
初回献血率(%)	6.9	6.8	6.3	9.1	5.1	7.0	10.8	8.5	6.4	5.3	5.4	4.7	6.9	

② 年齢別献血者数推移調

区 分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ～ 19 ^才	1,467 ^人	1,555 ^人	3,022 ^人	1,284 ^人	1,502 ^人	2,786 ^人	1,346 ^人	1,496 ^人	2,842 ^人
20 ～ 29	4,116	2,753	6,869	3,964	2,629	6,593	3,857	2,544	6,401
30 ～ 39	5,533	2,471	8,004	5,114	2,352	7,466	4,996	2,389	7,385
40 ～ 49	9,169	3,850	13,019	8,673	3,688	12,361	8,205	3,384	11,589
50 ～ 59	9,292	3,574	12,866	9,158	3,714	12,872	9,279	3,745	13,024
60 ～ 69	3,879	1,329	5,208	4,162	1,422	5,584	4,435	1,451	5,886
計	33,456	15,532	48,988	32,355	15,307	47,662	32,118	15,009	47,127

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区 分	構成比率	前年比	前年増減
16 ～ 19 ^才	6.0%	102.0%	56 ^人
20 ～ 29	13.6	97.1	▲ 192
30 ～ 39	15.7	98.9	▲ 81
40 ～ 49	24.6	93.8	▲ 772
50 ～ 59	27.6	101.2	152
60 ～ 69	12.5	105.4	302
計	100.0	98.9	▲ 535

④ 職業別献血者推移調

区 分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公 務 員	8,645 ^人	1,778 ^人	10,423 ^人	8,716 ^人	1,881 ^人	10,597 ^人	8,783 ^人	1,800 ^人	10,583 ^人
会 社 員	17,489	5,911	23,400	16,739	6,126	22,865	16,462	6,082	22,544
高 校 生	876	1,012	1,888	548	937	1,485	746	936	1,682
その他学生	1,321	1,493	2,814	1,431	1,372	2,803	1,301	1,360	2,661
そ の 他	5,125	5,338	10,463	4,921	4,991	9,912	4,826	4,831	9,657
計	33,456	15,532	48,988	32,355	15,307	47,662	32,118	15,009	47,127

(4) 令和2年・3年・4年度月別血液供給数

(200mL換算)

月区分	令和2年度 県内供給数	令和3年度 県内供給数	令和4年度 県内供給数
4 月	14,981	17,018	15,689
5 月	15,961	15,719	16,115
6 月	16,972	16,184	14,581
7 月	16,521	16,612	16,652
8 月	16,109	15,834	15,989
9 月	14,845	15,348	15,386
10 月	15,666	15,603	14,886
11 月	15,938	16,780	14,993
12 月	17,389	17,110	17,348
1 月	17,461	16,517	16,765
2 月	16,010	14,721	16,273
3 月	18,413	16,377	18,238
合 計	196,266	193,823	192,915

※200mL換算とは、200mL献血から分離された赤血球を1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



全国学生クリスマス献血キャンペーンに参加する学生ボランティア



献血にご協力いただいた八戸ブルースターズの皆様

(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上

<金色有功章>

市町村	人数
青森市	26
弘前市	15
五所川原市	5
八戸市	4
三沢市	2
藤崎町	2
板柳町	2
おいらせ町	2
黒石市	1
十和田市	1
つがる市	1
平川市	1
平内町	1
田舎館村	1
鶴田町	1
野辺地町	1
階上町	1
計	67

◎献血回数 70回以上

<銀色有功章>

市町村	人数
青森市	37
弘前市	23
八戸市	7
むつ市	7
平川市	4
おいらせ町	4
つがる市	3
五所川原市	2
三沢市	2
藤崎町	2
板柳町	2
十和田市	1
大鰐町	1
中泊町	1
野辺地町	1
横浜町	1
六ヶ所村	1
大間町	1
階上町	1
計	101



献血の呼びかけにご協力いただいた明治安田生命
青森支社新青森営業所の皆様



献血の呼びかけにご協力いただいた
ひらないDreamライオンズクラブの皆様



10. 活動資金の募集状況及び会員の現況

令和4年度の会員増強・活動資金増収運動は、「赤十字を支えるあなたの“ちから”」をスローガンに掲げ、令和4年2月1日から同月28日までを「運動強調月間」とし、通年募集を行った。なお、赤十字奉仕者による募集活動については、令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮したうえで、地域の状況に応じて柔軟に対応し、支部と地区・分区が連携のもと、県民に対する赤十字運動への参画と理解浸透を図った。

令和4年度の活動資金実績は大口の寄付により、258,226,208円（目標額の119.6%）となり、15年ぶりの目標額達成となった。

(1) 会員増強・活動資金増収運動の主な取り組み

当支部の組織基盤となる会員（協力会員を含む）の継続した会費協力を促すため、広報資材を活用した地域住民に対する会員制度の定着を図ったほか、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金の協力を行う会員の確保、ウェビナー等を通じた遺贈・相続財産寄付に関する相談対応職員の教育強化、法人会員への訪問募集等による活動資金の確保に努めた。

(2) 令和4年度 会員増強・活動資金増収運動の状況

① 会員等状況調

日本赤十字社は、会員等をもって組織されており、当支部では毎年2月から通年による会員増強・活動資金増収運動を展開している。当支部の会員等状況は、下表のとおりである。

(ア) 会員（社法上の社員）

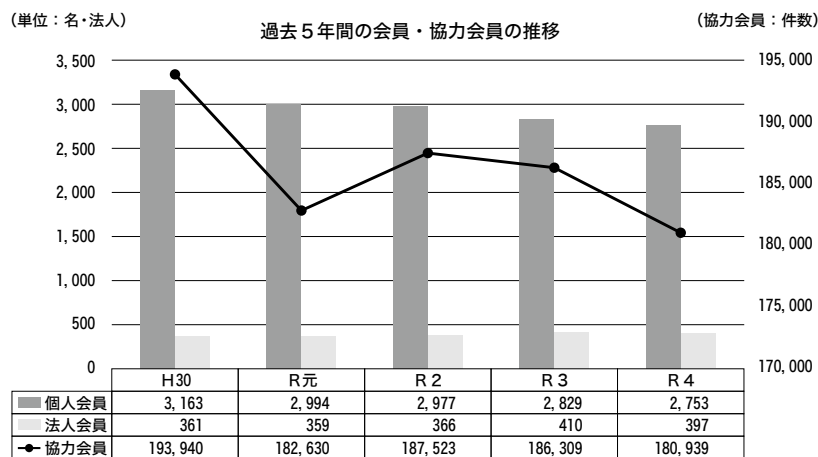
	会員数（名・法人）
個人	2,753
法人	397
合計	3,150

※本社の目的に賛同し、年額2,000円以上を納め運営に参画する個人又は法人

(イ) 協力会員

	協力会員件数
個人・法人	180,939

※会員以外の者であって、本社の目的に賛同し、目安として年額500円以上を提供する個人又は団体



② 募集実績額

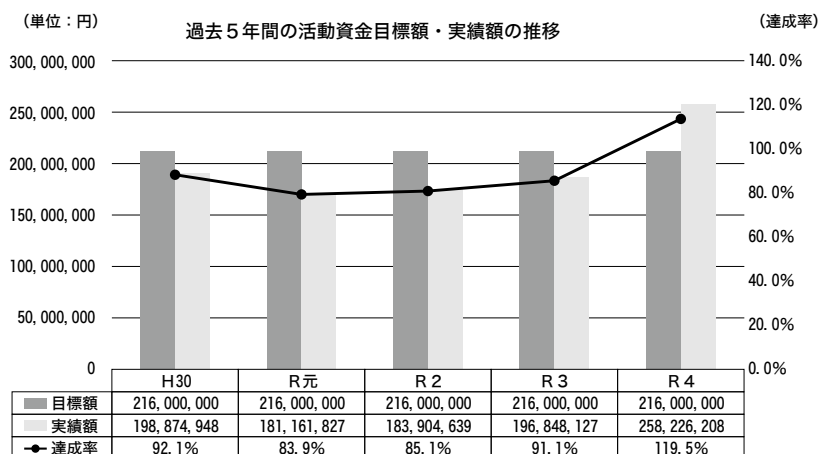
令和4年度の募集実績額は、前年度募集実績額196,848,127円に対し、前年度比で61,378,081円(31.2%)の増となった。主たる要因としては、個人からの大口寄付金の増が挙げられる。

《地区分区・支部別の募集実績額》

区 分		目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)
総 額		216,000,000	258,226,208	119.5
内 訳	地区分区扱い	202,980,000	135,857,001	66.9
	支部扱い	13,020,000	122,369,207	939.9

《会費・寄付金の収入状況》

区 分		会 費 (円)	寄 付 金 (円)	合 計
総 額		137,709,501	120,516,707	258,226,208
内	一 般	133,376,501	108,418,200	241,794,701
	地区分区扱い	128,248,501	7,105,500	135,354,001
	支部扱い	5,128,000	101,312,700	106,440,700
訳	法 人	4,333,000	12,098,507	16,431,507
	地区分区扱い	0	503,000	503,000
	支部扱い	4,333,000	11,595,507	15,928,507



③ 令和4年度 会員増強・活動資金増収運動の募集実績表

区分 地区・分區別		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)	区分 地区・分區別		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)
市	青森市	42,798,000	22,301,881	52.1	南地区	藤崎町	2,234,000	1,995,350	89.3
	旧青森市	39,987,000	19,968,845	49.9		大鰐町	2,013,000	1,235,400	61.4
	旧浪岡町	2,811,000	2,333,036	83.0		田舎館村	1,234,000	1,530,900	124.1
	弘前市	25,997,000	10,861,574	41.8		計	5,481,000	4,761,650	86.9
	八戸市	33,941,000	19,490,260	57.4	北地区	鶴田町	2,228,000	1,843,286	82.7
	黒石市	5,151,000	3,048,150	59.2		中泊町	2,262,000	1,731,030	76.5
	五所川原市	8,561,000	5,671,440	66.2		旧中里町	1,616,000	1,038,450	64.3
	旧五所川原市	6,384,000	4,007,290	62.8		旧小泊村	646,000	692,580	107.2
	旧金木町	1,703,000	1,193,450	70.1	計	4,490,000	3,574,316	79.6	
	旧市浦村	474,000	470,700	99.3	上北地区	野辺地町	2,363,000	1,761,800	74.6
	十和田市	9,336,000	5,402,580	57.9		七戸町	2,674,000	2,543,724	95.1
	三沢市	5,761,000	3,706,437	64.3		旧七戸町	1,516,000	1,167,100	77.0
	むつ市	9,619,000	5,489,122	57.1		旧天間林村	1,158,000	1,376,624	118.9
	旧むつ市	6,632,000	3,924,722	59.2	六戸町	1,401,000	1,859,900	132.8	
	旧川内町	973,000	605,100	62.2	横浜町	822,000	838,000	101.9	
	旧大畑町	1,580,000	888,300	56.2	東北町	2,795,000	2,428,600	86.9	
	旧脇野沢	434,000	71,000	16.4	六ヶ所村	1,680,000	1,457,900	86.8	
	つがる市	5,786,000	6,192,850	107.0	計	11,735,000	10,889,924	92.8	
	平川市	4,886,000	5,797,113	118.6	下北地区	大間町	1,020,000	591,300	58.0
	旧尾上町	1,339,000	1,626,798	121.5		東通村	1,214,000	1,068,600	88.0
旧平賀町	3,013,000	3,842,815	127.5	風間浦村		465,000	395,500	85.1	
旧碓ヶ関村	534,000	327,500	61.3	佐井村		501,000	514,500	102.7	
				計	3,200,000	2,569,900	80.3		
				三戸地区	三戸町	1,902,000	2,119,200	111.4	
計	151,836,000	87,961,407	57.9		五戸町	2,930,000	3,669,900	125.3	
平内町	2,314,000	2,026,500	87.6		田子町	1,049,000	1,000,100	95.3	
今別町	764,000	653,590	85.5		南部町	3,161,000	3,332,207	105.4	
蓬田村	508,000	780,000	153.5	階上町	2,062,000	2,057,057	99.8		
外ヶ浜町	1,474,000	1,295,000	87.9	新郷村	434,000	579,700	133.6		
計	5,060,000	4,755,090	94.0	おいらせ町	2,912,000	2,973,350	102.1		
				計	14,450,000	15,731,514	108.9		
西地区	鱒ヶ沢町	2,088,000	1,903,000	91.1	支部直轄扱	13,020,000	122,369,207	939.9	
	深浦町	1,903,000	1,422,600	74.8	市	151,836,000	87,961,407	57.9	
	計	3,991,000	3,325,600	83.3	町	51,144,000	47,895,594	93.6	
中地区	西目屋村	315,000	415,000	131.7	市町村合計	202,980,000	135,857,001	66.9	
	板柳町	2,422,000	1,872,600	77.3	合計	216,000,000	258,226,208	119.5	
	計	2,737,000	2,287,600	83.6					

※日赤本社が募集を行う口座振替等の実績額は、支部直轄扱に含む。

④令和4年度 会員増強・活動資金増収運動の募集実績額対前年度比較表

区分 地区・分區別		令和4年度		B/A 目標額 達成率	C 令和3年度 実績額(円)	B-C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				B/C	達成率
市地区	青森市	39,987,000	19,968,845	49.9%	20,824,861	-856,016	95.9%	-4.1%
	青森市浪岡	2,811,000	2,333,036	83.0%	2,362,225	-29,189	98.8%	-1.2%
	弘前市	25,997,000	10,861,574	41.8%	12,316,555	-1,454,981	88.2%	-11.8%
	八戸市	33,051,000	18,589,010	56.2%	19,007,640	-418,630	97.8%	-2.2%
	八戸市南郷	890,000	901,250	101.3%	908,850	-7,600	99.2%	-0.8%
	黒石市	5,151,000	3,048,150	59.2%	3,063,200	-15,050	99.5%	-0.5%
	五所川原市	6,384,000	4,007,290	62.8%	4,046,000	-38,710	99.0%	-1.0%
	五所川原市金木	1,703,000	1,193,450	70.1%	1,163,800	29,650	102.5%	2.5%
	五所川原市市浦	474,000	470,700	99.3%	476,200	-5,500	98.8%	-1.2%
	十和田市	9,336,000	5,402,580	57.9%	5,880,680	-478,100	91.9%	-8.1%
	三沢市	5,761,000	3,706,437	64.3%	3,850,166	-143,729	96.3%	-3.7%
	むつ市	6,632,000	3,924,722	59.2%	3,973,381	-48,659	98.8%	-1.2%
	むつ市川内	973,000	605,100	62.2%	617,600	-12,500	98.0%	-2.0%
	むつ市大畑	1,580,000	888,300	56.2%	920,500	-32,200	96.5%	-3.5%
	むつ市脇野沢	434,000	71,000	16.4%	73,000	-2,000	97.3%	-2.7%
	つがる市	5,786,000	6,192,850	107.0%	5,521,379	671,471	112.2%	12.2%
平川市	4,886,000	5,797,113	118.6%	5,821,720	-24,607	99.6%	-0.4%	
計	151,836,000	87,961,407	57.9%	90,827,757	-2,866,350	96.8%	-3.2%	
東地区	平内町	2,314,000	2,026,500	87.6%	4,105,500	-2,079,000	49.4%	-50.6%
	今別町	764,000	653,590	85.5%	685,000	-31,410	95.4%	-4.6%
	蓬田村	508,000	780,000	153.5%	786,500	-6,500	99.2%	-0.8%
	外ヶ浜町	1,474,000	1,295,000	87.9%	1,362,100	-67,100	95.1%	-4.9%
	計	5,060,000	4,755,090	94.0%	6,939,100	-2,184,010	68.5%	-31.5%
西地区	鱒ヶ沢町	2,088,000	1,903,000	91.1%	1,958,600	-55,600	97.2%	-2.8%
	深浦町	1,903,000	1,422,600	74.8%	1,468,250	-45,650	96.9%	-3.1%
	計	3,991,000	3,325,600	83.3%	3,426,850	-101,250	97.0%	-3.0%
中地区	西目屋村	315,000	415,000	131.7%	417,000	-2,000	99.5%	-0.5%
	板柳町	2,422,000	1,872,600	77.3%	1,929,400	-56,800	97.1%	-2.9%
	計	2,737,000	2,287,600	83.6%	2,346,400	-58,800	97.5%	-2.5%
南地区	藤崎町	2,234,000	1,995,350	89.3%	2,053,800	-58,450	97.2%	-2.8%
	大鱒町	2,013,000	1,235,400	61.4%	1,299,300	-63,900	95.1%	-4.9%
	田舎館村	1,234,000	1,530,900	124.1%	1,562,368	-31,468	98.0%	-2.0%
	計	5,481,000	4,761,650	86.9%	4,915,468	-153,818	96.9%	-3.1%
北地区	鶴田町	2,228,000	1,843,286	82.7%	1,889,550	-46,264	97.6%	-2.4%
	中泊町	2,262,000	1,731,030	76.5%	1,855,400	-124,370	93.3%	-6.7%
	計	4,490,000	3,574,316	79.6%	3,744,950	-170,634	95.4%	-4.6%
上北地区	野辺地町	2,363,000	1,761,800	74.6%	1,779,300	-17,500	99.0%	-1.0%
	七戸町	2,674,000	2,543,724	95.1%	2,589,532	-45,808	98.2%	-1.8%
	六戸町	1,401,000	1,859,900	132.8%	1,864,700	-4,800	99.7%	-0.3%
	横浜町	822,000	838,000	101.9%	832,000	6,000	100.7%	0.7%
	東北町	2,795,000	2,428,600	86.9%	2,435,800	-7,200	99.7%	-0.3%
	六ヶ所村	1,680,000	1,457,900	86.8%	1,448,900	9,000	100.6%	0.6%
	計	11,735,000	10,889,924	92.8%	10,950,232	-60,308	99.4%	-0.6%
下北地区	大間町	1,020,000	591,300	58.0%	618,200	-26,900	95.6%	-4.4%
	東通村	1,214,000	1,068,600	88.0%	1,086,400	-17,800	98.4%	-1.6%
	風間浦村	465,000	395,500	85.1%	413,500	-18,000	95.6%	-4.4%
	佐井村	501,000	514,500	102.7%	545,650	-31,150	94.3%	-5.7%
計	3,200,000	2,569,900	80.3%	2,663,750	-93,850	96.5%	-3.5%	
三戸地区	三戸町	1,902,000	2,119,200	111.4%	2,154,600	-35,400	98.4%	-1.6%
	五戸町	2,930,000	3,669,900	125.3%	3,770,100	-100,200	97.3%	-2.7%
	田子町	1,049,000	1,000,100	95.3%	994,100	6,000	100.6%	0.6%
	南部町	3,161,000	3,332,207	105.4%	3,425,650	-93,443	97.3%	-2.7%
	階上町	2,062,000	2,057,057	99.8%	2,086,900	-29,843	98.6%	-1.4%
	新郷村	434,000	579,700	133.6%	579,000	700	100.1%	0.1%
	おいらせ町	2,912,000	2,973,350	102.1%	2,938,870	34,480	101.2%	1.2%
計	14,450,000	15,731,514	108.9%	15,949,220	-217,706	98.6%	-1.4%	
支部直轄	13,020,000	122,369,207	939.9%	55,084,400	67,284,807	222.1%	122.1%	
市計	151,836,000	87,961,407	57.9%	90,827,757	-2,866,350	96.8%	-3.2%	
町村合計	51,144,000	47,895,594	93.6%	50,935,970	-3,040,376	94.0%	-6.0%	
市町村合計	202,980,000	135,857,001	66.9%	141,763,727	-5,906,726	95.8%	-4.2%	
合計	216,000,000	258,226,208	119.5%	196,848,127	61,378,081	131.2%	31.2%	

⑤ 令和4年度 地区区分別の募集目標額達成状況

達成率区分	市地区	東地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三戸地区	合計	前年度との比較
150%以上		蓬田村						1	-1
140%以上 150%未満								0	0
130%以上 140%未満				西目屋村	六戸町		新郷村	3	0
120%以上 130%未満				田舎館村			五戸町	2	0
110%以上 120%未満	平川市						三戸町	2	0
100%以上 110%未満	つがる市 八戸市南郷				横浜町	佐井村	南部町 おいらせ町	6	-1
計	3	1	0	2	2	1	5	14	-2
90%以上 100%未満	五所川原市市浦		鱒ヶ沢町		七戸町		階上町 田子町	5	-1
80%以上 90%未満	青森市浪岡	外ヶ浜町 平内町 今別町	鶴田町	藤崎町	東北町 六ヶ所村	東通村 風間浦村		10	2
70%以上 80%未満	五所川原市金木		中泊町 深浦町	板柳町	野辺地町			5	2
60%以上 70%未満	三沢市 五所川原市 むつ市川内			大鰐町				4	-3
60%未満	黒石市 むつ市 十和田市 八戸市 むつ市大畑 青森市 弘前市 むつ市脇野沢					大間町		9	2
計	14	3	4	3	4	3	2	33	2



11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、名誉総裁の皇后陛下をはじめ、名誉副総裁の各妃殿下がご臨席され、以下のとおり全国赤十字大会が開催された。

期 日 令和4年5月19日
場 所 東京都「明治神宮会館」
参会者数 約500名
支部参会者 7名

支部参会者は、下表のとおり（順不同）

氏 名	役職名等	氏 名	役職名等
木 明 昭一郎	支部選出理事	神 登喜彦	支部事務局長
成 田 耕 造	代議員・評議員	田 澤 達 也	支部総務課長
瀧 本 ひろみ	青少年赤十字指導講師	山野内 博 見	支部事業推進課長
		中 居 侑 暉	支部総務課主事



全国赤十字大会に参会された本県の赤十字関係者

(2) 活動資金功勞表彰伝達式

令和4年中に、当支部に対して活動資金の支援を行った個人・法人に日本赤十字社及び国の表彰制度に基づく有功章等の伝達を行った。

期 日 令和5年3月28日

場 所 ホテル青森（青森市）

伝 達 者 日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾

受章(賞)者件数 39名・法人

功勞区分		表彰区分		金色 有功章	銀色 有功章	社長 感謝状	厚生労働大臣 感謝状 (※)	紺綬褒章 (※)	計
		個人	法人						
社 資 功 勞	個 人	1	10	5	3	0	19		
	法 人	2	9	9	0	0	20		
合 計		3	19	14	3	0	39		

(※) 国の表彰



活動資金功勞表彰伝達式に出席された受章者



伝達式で祝辞を述べる三村支部長



支部長から感謝状が伝達される受章者

(3) 広報活動の実施状況について

① 会員、活動資金の募集運動用資材の作成と配布

1) 広報ポスター（日赤本社作成）

作成数：4,500枚

仕様：B3、カラー印刷

活用内容：「道の駅」等市町村主要施設に掲出

2) 広報チラシ

作成数：452,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配布、「道の駅」等市町村主要施設に設置

3) 奉仕者協力依頼状（白封筒付き）

作成数：13,000枚

仕様：A4、三つ折り、2色刷り

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

4) 会員・活動資金募集の手順書

作成数：32,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

5) 税制上の優遇措置、赤十字の表彰と表彰種別

作成数：37,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

6) 会員加入・寄付申込書兼領収書

作成数：88,000枚（352,000人分）

仕様：B4、両面2色刷り

活用内容：会員への加入、活動資金の納付

② 資材による広報活動

1) リーフレット「日本赤十字社のご案内」（日赤本社作成）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配布

2) キャンペーン用広報ポスター（日赤本社作成）

活用内容：キャンペーン期間中に管内施設、地区分区等に掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社作成）

発行回数：毎月発行

発行数：1回につき1,900部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付

4) 支部報「日赤あおり」(当支部作成)

発行回数：季刊発行（合併号年2回）

発行数：1回につき1,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付



(左) 日赤あおり407号 2022春夏
(令和4年8月1日発行)

(右) 日赤あおり408号 2023秋冬
(令和5年2月1日発行)

③ メディア等による広報活動

1) 新聞広告の掲載

新聞各社が企画する防災特別紙面において、日本赤十字社が展開する3月の「ACTION! 防災・減災」の取り組みの一環として広告を出稿し、防災減災の意識向上と会員増強・活動資金増収運動への理解促進を図った。

(ア) 東奥日報社 連合広告（2段1/2カラー）

(イ) 陸奥新報 編集記事下広告（2段1/2カラー）

2) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿依頼

3) ホームページ、SNSの運用

支部統合ウェブサイト（当支部ホームページ）による赤十字活動の紹介、活動資金の募集、ボランティアの加入方法等の情報を発信したほか、当支部公式SNS（Twitter、Facebook、Instagram）による積極的な情報発信に努めた。

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業

地区区分が各自治体等で開催するイベント等で、赤十字活動の広報展開を行った。

《実施状況》6分区（7事業）

分区名	事業名	実施日
外ヶ浜町	龍飛崎海岸清掃奉仕活動	7月6日
横浜町	「公民館まつり」赤十字コーナー	10月22日～23日
田子町	「田子町立図書館」赤十字コーナー	10月12日～26日
	「田子町文化祭」赤十字コーナー	10月29日～30日
おいらせ町	おいらせ町赤十字奉仕団PR事業	10月22日～23日
階上町	階上町民文化祭	11月5日～6日
東北町	東北町生き生き産業文化まつり	11月6日



公民館まつりでの赤十字コーナーの様子（横浜町）



東北町生き生き産業文化まつりの様子（東北町）

*新型コロナウイルスの影響により中止した地区区分 2 分区（2 事業）

分区名	事業名	実施予定日
七戸町	しちのへ夏まつり	8月16日
新郷村	新郷村防災訓練	10月16日

2) 世界赤十字デー レッドライトアッププロジェクト

5月8日の「世界赤十字デー」を中心に、全国各地のランドマークや施設が赤十字のシンボルカラーに染まる「レッドライトアッププロジェクト」を実施し、当支部では5月8日に2ヵ所の施設で実施した。

(ア) 津軽ダム（国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所）

(イ) 八戸市多賀多目的運動場（八戸スポーツ・地域振興グループ）



撮影・提供；国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統合管理事務所

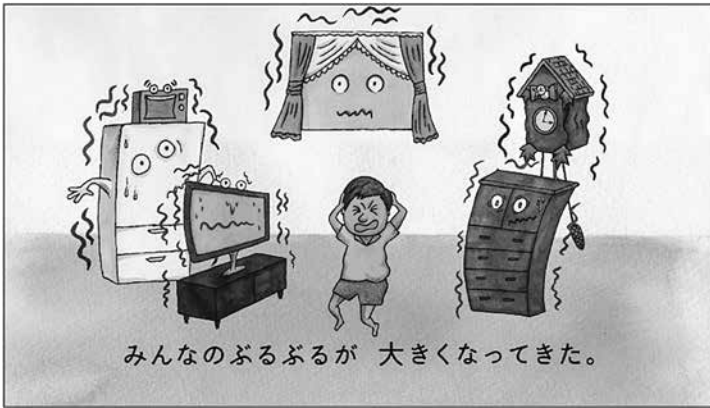


ヴァンラーレ八戸（J3）のホームスタジアムである
八戸市多賀多目的運動場「プライフーズスタジアム」

3) ACTION! 防災・減災一命のために今うごけー

社会の防災への意識が高まる9月と3月に「災害の備え」という行動（ACTION）を働き掛け、防災・減災の意識向上を図るため、「ACTION! 防災・減災」を展開した。

当支部では関係機関の協力を仰ぎ、訴求のために新たに作成されたコンテンツのSNS公式アカウント等での啓発活動の展開やTwitter上で実施された「#あなたの備えがみんなの備えに」キャンペーンへの投稿を呼び掛けたほか、新規法人会員の確保のためにダイレクトメールによる積極的な呼びかけを実施した。



絵本動画「おうちの中のmonster」



マンガ「災害に備えておうちの中の安全対策のススメ」

4) ACTION! BOUSAIキャンプフェス

日本赤十字社が展開する9月の「ACTION! 防災・減災」の取り組みの一環として、キャンプや様々なプログラムを通じて、防災・減災への備えが命を守るための備えであるという本質を理解し、自らの行動変容や知識や工夫の周囲への拡散による防災意識の向上のため、キャンプイベントを開催した。

イベントには、県内の家族連れなど100名が参加し、救急法や避難所・救援物資の展示、災害時にも役立つアウトドア用品や普段の生活にも役立つアウトドア食品の調理体験を行ったほか、お天気クイズへの挑戦やハザードマップの見方などのプログラムを展開した。

期 日 令和4年9月17日～18日（1泊2日）
 場 所 モヤヒルズ内オートキャンプ場
 共 催 株式会社エフエム青森
 協 力 青森県オート・キャンプ協会、青森地方気象台、
 特定非営利活動法人 青森県防災士会



心肺蘇生を学ぶ参加者



アルミ缶を使った炊飯体験



12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の「親睦・奉仕」を合い言葉に「人道・博愛」を使命とする赤十字事業を支援し続け、昨年5月、43年目を迎えた。

令和5年3月31日現在、会員数は、336名（社・団体）となっている。

(1) 有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
0	0	18	8,210,000	18	8,210,000

(2) 青森県赤十字有功会会員の状況

(令和5年3月31日 現在)

市郡別	区 分	個 人		法 人		計
		金色有功章	銀色有功章	金色有功章	銀色有功章	
青 森 市		41	20	36	7	104
弘 前 市		13	6	16	3	38
八 戸 市		24	5	32	3	64
黒 石 市		0	1	1	0	2
五 所 川 原 市		5	4	1	2	12
十 和 田 市		6	3	7	1	17
三 沢 市		3	3	3	0	9
む つ 市		7	1	4	0	12
つ が る 市		1	3	1	0	5
平 川 市		0	0	0	0	0
小 計		100	46	101	16	263
東 津 軽 郡		4	4	3	4	15
西 津 軽 郡		2	1	2	1	6
中 津 軽 郡		0	0	0	0	0
南 津 軽 郡		2	1	1	0	4
北 津 軽 郡		2	1	0	1	4
上 北 郡		7	4	6	3	20
下 北 郡		2	2	3	0	7
三 戸 郡		13	2	1	0	16
小 計		32	15	16	9	72
県 外		1	0	0	0	1
合 計		133	61	117	25	336

※会員総数 336 (内訳) 個人 194 名
法人 142 社

(3) 令和4年度 青森県赤十字有功会主要事業

項 目 / 概 要			
1) 有功会員による仲間づくり運動の推進			
令和4年度協力実績 (内訳)	18件	8,210,000円	令和5年3月31日現在 個人・法人会員数 336人・社 ※前年度 360人・社
新規有功章等募集	0件	0円	
会員による寄付金	18件	8,210,000円	
2) 地区赤十字有功会への活動の助成			
地区有功会活動助成金 (内訳)	3地区	66,300円	
弘前市赤十字有功会		26,300円	
平内町赤十字有功会		20,000円	
蓬田村赤十字有功会		20,000円	
3) 有功会報の発行			
有功会報 第77号発行(発行日:令和5年3月)			全会員ほか関係者等へ送付
4) 各種義援金等寄託			
令和4年度義援金・救援金 (内訳)	2件	20,000円	
令和4年8月3日からの大雨災害		10,000円	
NHK海外たすけあい		10,000円	
5) 青少年・こども赤十字活動支援			
品名:けんけつちゃん×ハートラちゃんハンドタオル(イエロー)		500枚贈呈	
6) 各種行事等			
①監査(6月16日:日赤青森県支部)			
・令和3年度事業並びに会計収支監査			
②第59回役員会(6月16日:日赤青森県支部)			
・議案審議			
令和3年度事業報告及び収支決算について			
令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について			
③通常総会(7月25日/文書審議)			
・議案審議			
令和3年度事業報告及び収支決算について			
令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)について			
④地区有功会総会			
・蓬田村赤十字有功会総会(8月3日:蓬田村ふるさと総合センター)			
⑤日赤紺綬・有功会会長協議会総会(10月6日:ANAクラウンプラザホテル大阪)			
⑥新年祝賀会員互礼会			
・青森会場(1月10日:ホテル青森)			
・弘前会場(1月12日:ホテルニューキャッスル)			
・八戸会場(1月13日:八戸プラザホテル)			



岩手県遠野市地区有功会の支部研修視察の様子



新年祝賀互礼会にて新年の挨拶を述べる工藤有功会長



13. 評議員会及び監査

令和4年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 第164回支部評議員会

開催年月日 令和4年6月13日(月)
 開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室
 出席状況 評議員 24名
 青山祐治副支部長／工藤順巳副支部長／若佐谷典人監査委員／
 加川史監査委員／高橋文雄監査委員

議長 青山副支部長

審議議案

1. 令和3年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算について
2. 令和3年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について
3. 令和3年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算について
4. 令和3年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算(案)について
5. 任期満了に伴う監査委員の選出について

報告

令和3年度 青森県赤十字血液センター 事業報告について

② 第165回支部評議員会

開催年月 令和5年2月9日(木)
 開催場所 日本赤十字社青森県支部 大会議室
 出席状況 評議員 23名
 青山祐治副支部長／工藤順巳副支部長／若佐谷典人監査委員／
 加川史監査委員／高橋文雄監査委員

議長 青山副支部長

審議議案

1. 令和5年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画(案)及び一般会計歳入歳出予算(案)について
2. 令和5年度 はまなす医療療育センター 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算(案)について
3. 令和5年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出予算(案)について
4. 令和4年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算(案)について
5. 令和4年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算(案)について

報告

令和5年度 青森県赤十字血液センター事業計画(案)について

(2) 監査

令和3年度決算監査

施設名	実施方法等	監査委員
日本赤十字社青森県支部	実地監査(5月26日)	若佐谷監査委員 加川監査委員 高橋監査委員
青森県赤十字血液センター	実地監査(5月26日)	
八戸赤十字病院	実地監査(5月24日)	
青森県立はまなす医療療育センター	実地監査(5月24日)	



14. 令和4年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事業費目	金額 (円)
支部収入	
社 資 収 入	260,596,005
委 託 金 等 収 入	0
補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	2,107,554
災 害 義 援 金 預 り 金 収 入 (令和4年8月3日からの大雨災害義援金)	105,288,953
繰 入 金 収 入	7,637,053
資 産 収 入	12,102,792
雑 収 入	4,010,519
前 年 度 繰 越 金	24,768,096
収 入 合 計	416,510,972

事業費目	金額 (円)
支部費	
災害救助活動及び救護資材の整備	6,879,094
赤十字看護師の養成費	1,546,624
献血普及・管下施設の指導	50,561
救急法・健康生活支援講習等普及	3,666,365
赤十字奉仕団の普及と育成強化	4,653,629
青少年赤十字の普及と育成強化	4,603,948
社会福祉活動	27,067
国際救援活動と国際開発協力事業	5,354,194
地区・分区の運営	16,145,992
赤十字会員の整備と増強	11,540,276
赤十字思想の普及と広報活動	4,954,370
本社の活動推進	38,103,931
施設繰り出し・補助金	4,016,160
資金積立	70,000,000
支部の運営管理	118,948,607
令和4年8月3日からの大雨 災害義援金(配分委員会送金)	105,288,953
支 出 合 計	395,779,771

収入支出差引額(翌年度繰越)	20,731,201
----------------	------------

※上記決算額には、個人住民税控除対象海外救援金(2,369,797円)が含まれています。

(2) 社会福祉施設特別会計

収入の部	金額 (円)
受託事業収入	833,755,339
その他事業収入	292,653
経常経費寄附金収入	107,740
受取利息配当金収入	9
その他の収入	879,333
他会計繰入金収入	1,081,160
その他の活動による収入	36,697,424
前期末支払資金残高	△ 1,965,966
収入合計	870,847,692

支出の部	金額 (円)
人件費支出	657,519,785
事業費支出	90,963,440
事務費支出	80,602,962
支払利息支出	177,131
その他の支出	167,113
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,336,025
他会計繰入金支出	380,160
その他の活動による支出	35,211,538
支出合計	868,358,154

収入支出差引額	2,489,538
---------	-----------

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
医療収益	10,697,901,067
医療外収益	1,809,417,630
医療社会事業収益	300,000
付帯事業収益	0
特別利益	1,606,651
計	12,509,225,348

事業費目	金額 (円)
支出	
医療費用	10,921,525,774
医療外費用	42,140,637
医療奉仕費用	53,569,283
付帯事業費用	0
特別損失	4,722,279
法人税等	924,272
計	11,022,882,245

収入支出差引額	1,486,343,103
---------	---------------

② 資本的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
固定負債	489,972,340
資産売却収入	0
その他資本収入	894,531,846
計	1,384,504,186

事業費目	金額 (円)
支出	
固定資産	793,122,674
借入金等償還	591,381,512
計	1,384,504,186

収入支出差引額	0
---------	---



15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役職名	氏名	公職等
支部長	三村申吾	青森県知事
副支部長	青山祐治	青森県副知事
同	熊谷雄一	八戸市長
同	工藤順巳	青森県赤十字有功会長、協同組合日専連弘前顧問
監査委員	若佐谷典人	税理士
同	加川史	元つがる市商工会事務局長
同	高橋文雄	元弘前市健康福祉部長
本社理事	木明昭一郎	社会福祉法人福祉の里理事
本社代議員	木明昭一郎	社会福祉法人福祉の里理事
同	村井達	青森県赤十字有功会副会長、八戸赤十字病院運営審議会会長
同	成田耕造	青森県赤十字有功会副会長、株式会社成田本店取締役会長

(2) 評議員（選出区分） ※任期：令和4年2月14日～令和7年2月13日

加川史（青森市地区）	田中武（東津軽地区）
鶴賀晃（青森市地区）	宮本はる枝（西北地区）
佐藤正則（青森市地区）	安田裕（中南地区）
高橋文雄（弘前市地区）	木村宣文（中南地区）
小柳紀八郎（弘前市地区）	木明昭一郎（上北地区）
中嶋幸一郎（八戸市地区）	新館なみゑ（上北地区）
水溜広（八戸市地区）	内藤要（下北地区）
榎山義則（八戸市地区）	川村武司（三戸地区）
北山リッ（黒石市地区）	佐藤久美子（三戸地区）
小関光雄（五所川原市地区）	村井達（支部長）
澤橋勇（十和田市地区）	太田直樹（支部長）
高橋博美（三沢市地区）	成田耕造（支部長）
石倉司（むつ市地区）	沼田弘子（支部長）
鶴賀善宏（つがる市地区）	三橋一晃（支部長）
大里あさ（平川市地区）	

(定数30名 現在29名)

長期ビジョンを道標として、「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界へ。

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉事業など、時代のニーズに応え様々な活動を展開してきました。創立から140年が経過し、人口構造の変化・グローバル化・ICT化・気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できる赤十字への変革が求められ、これまでの常識や経験、考え方にとらわれずに、新たな課題に果敢にチャレンジしていく必要があります。

この長期ビジョンを道標として、私たち一人ひとりが自らの発想と意志を持って活動に取り組み、どのような状況にあっても「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界を目指していききたい。変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦です。

— 「日本赤十字社 長期ビジョン」全体像 —

日本赤十字社が
取り組む社会課題

- 災害や紛争から人々が守られる社会づくり
- 人々の健康・福祉を支える地域づくり
- 互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

新たなステージへの行動指針

- 支援を受ける側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長期戦略

— 事業戦略 —

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

— 運動基盤強化戦略 —

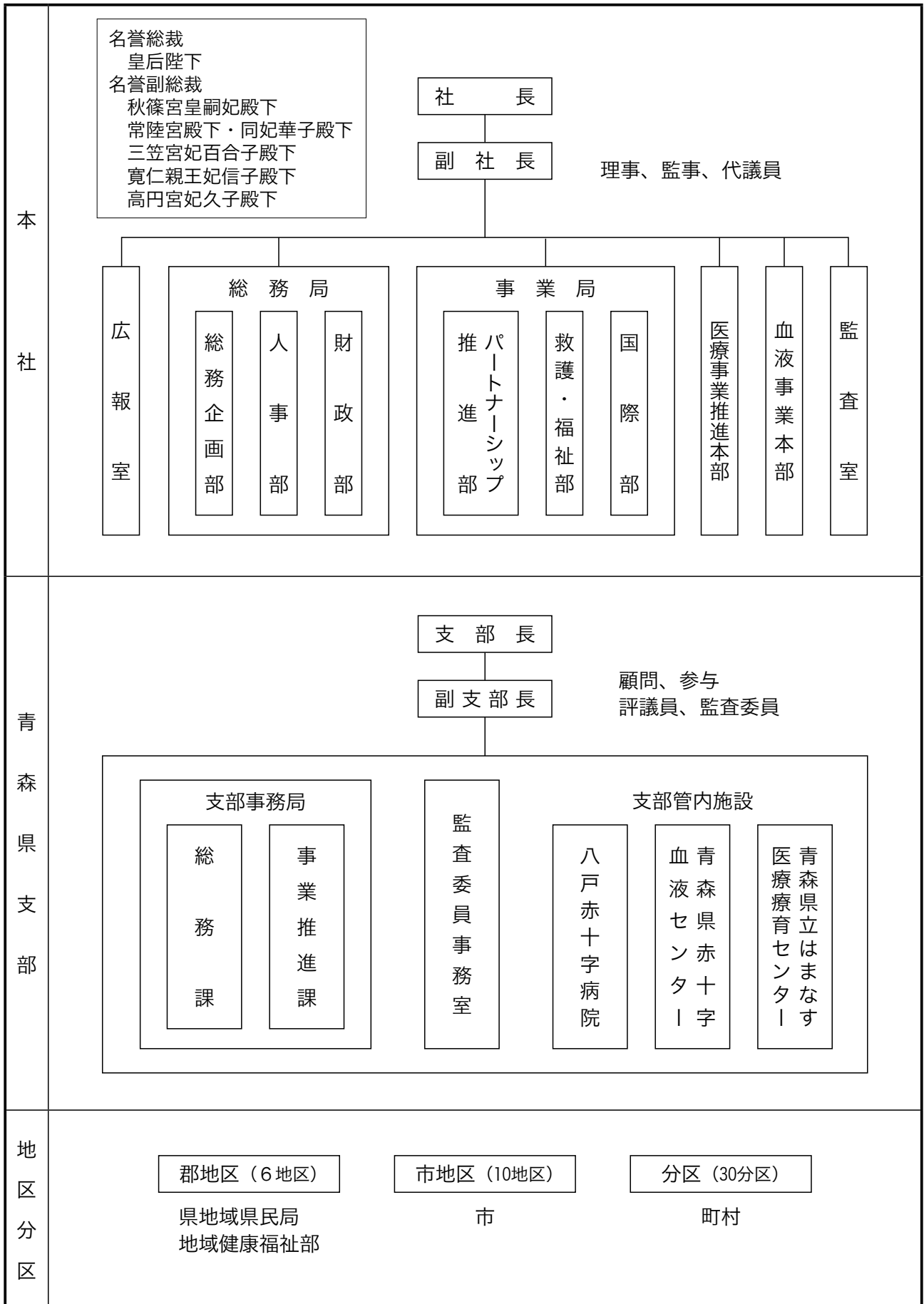
会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

日本赤十字社の組織と機構

(令和5年4月1日 現在)



日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
 明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
 昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 赤十字会員数(令和5年3月31日現在)

個人 2,753人/法人 397社

3. 評議員(令和5年3月31日現在)

29人

4. 役員

支 部 長 三村 申吾
 副 支 部 長 青山 祐治、熊谷 雄一、工藤 順巳
 本 社 理 事 木明 昭一郎
 本社代議員 木明 昭一郎、村井 達、成田 耕造
 支部監査委員 若佐谷 典人、加川 史、高橋 文雄

5. 赤十字奉仕団(令和5年3月31日現在)

区 分	団 数	登 録 数
地 域	47団	6,767人
青 年	4団	180人
特 殊	9団	644人
合 計	60団	7,591人

6. 青少年赤十字(令和5年3月31日現在)

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	203園	10,966人
小 学 校	104校	16,342人
中 学 校	49校	8,369人
高 等 学 校	51校	967人
特別支援学校	3校	65人
合 計	410校	36,709人

指導者数 4,900人

7. 青森県赤十字有功会員(令和5年3月31日現在)

個人 194名/法人 142社・団体

8. 講習普及活動(令和5年3月31日現在)

区 分	講習回数 (令和4年度)	受講者数 (令和4年度)	指導員数
救 急 法	125回	3,194人	98人
水 上 安 全 法	10回	569人	30人
健康生活支援講習	0回	0人	5人
幼 児 安 全 法	3回	36人	14人
合 計	138回	3,799人	147人

※指導員養成講習を除く

9. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
ラオス救急法普及支援事業
バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン

10. 災害等救護

救護班(令和5年3月31日現在)	8班 56名	
無線局(同上)	基地局 6/移動局	39
救援車輛(同上)	4台	
受付義援金(同上)	166件	106,472,027円
配付救援物資(令和4年度)	毛 布	1,177枚
	緊急セット	557個
	安眠セット	131個
	タオルケット	566枚
	バスタオル	56枚

11. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 434床(一般374床、精神60床)

総患者数(令和4年度)		一日平均患者数(令和4年度)	
入院患者	111,539人	入院患者	302.8人
外来患者	153,028人	外来患者	629.7人

12. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数(令和5年3月31日現在)	
血液センター	1	献血バス	4台
出張所	3	献血運搬車両	15台
献血者数(令和4年度)		供給本数(令和4年度)	
200mL	1,312人	全血製剤	0本
400mL	32,101人	赤血球製剤	73,112本
血漿成分	10,516人	血漿製剤	18,728本
血小板成分	3,198人	血小板製剤	101,075本
合 計	47,127人	合 計	192,915本

13. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢体不自由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	560人
青森県赤十字血液センター	56人
はまなす医療療育センター	79人
合 計	706人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計(令和5年度当初予算)

：千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	235,000	235,000
社会福祉施設特別会計		
はまなす医療療育センター	918,892	918,892
医療事業特別会計		
八 戸 赤 十 字 病 院	10,880,745	11,226,197

- ・血液センターは各ブロックを会計単位としているため省略。
- ・特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号

TEL 017-722-2011 FAX 017-735-3502

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>

八戸赤十字病院

〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2

TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121

ホームページ <http://www.hachinohe.jrc.or.jp/>

日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター

〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729

TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/> (青森県支部ホームページ内)

青森県赤十字血液センター

〒030-0966 青森市花園2-19-11

TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和4年度 事業年報
